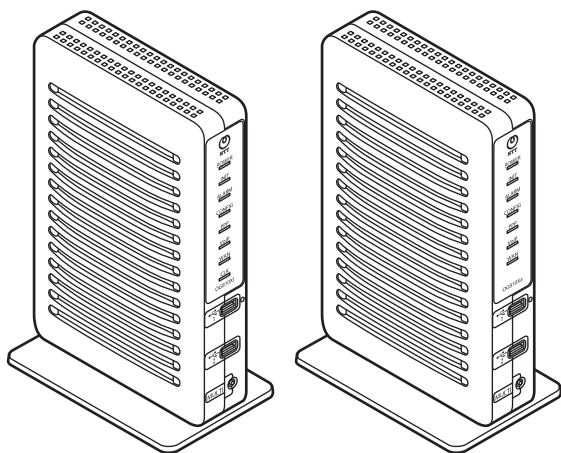
Netcommunity

OG410X / OG810X

取扱説明書

このたびは Netcommunity OG410X/OG810X をご利用いただき、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマーク説明

マーク	説明
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

厳守事項

■ パスワードの取り扱いについて

本商品の「Web 設定」の画面で入力していただくユーザ用パスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■ 本書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

- NTT 東日本のホームページ：　http://web116.jp/ced/
- NTT 西日本のホームページ：　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

ご使用にあたってのお願い

注意
この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

- ご使用の際は本書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の LINE ポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。本商品に登録または保持された情報の消去は、当社のサービス取扱所までご連絡ください。(有料)
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本商品の取り扱いについては、本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書などをよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考にしていただくことを目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 外部からの不正な(意図しない)アクセスなどにより、ひかり電話サービスおよびインターネットがご利用できなくなる場合があります。このような場合は当社ホームページなどで最新のプログラムをそのつど提供してまいりますので、対応内容をご確認のうえ、最新バージョンをご利用いただきますようお願いします。なおプログラムのバージョンアップに関しては「ファームウェア更新を行う」(☛P4-6)を参照してください。
- 本商品および本商品に搭載されているソフトウェアについて改変、複製、販売、譲渡を禁止します。

記載している Web ブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。
また、機能向上のため Web ブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

本商品の設置場所について

⚠ 警　告

- 本商品、電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブル、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタのそばに、水や薬品などの液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。
  本商品、電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブル、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
  - 湿気の多い場所、結露の発生する場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- 差込口が 2 つ以上ある壁のコンセントに他の電気製品の電源プラグなどを差し込む場合は、合計の電流値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。筐体やケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 85%以上）では設置および使用はしないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。
- 本商品は次のような場所に置かないでください。また、指定された設置方法以外では設置しないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
  - ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
  - 振動、衝撃の多い場所。
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
  - じゅうたんや布団の上に置く。
  - テーブルクロスなどをかける。
  - 本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い狭い場所に置く。
  - 紙、本などを乗せたり、立てかけたりする。
- 屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

● 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。

● 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

STOP お願い

● 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近くにあり、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

本商品のお取り扱いについて

⚠ 警　告

● 電源は、AC100 ± 10V（50/60Hz）の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。
なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

● 本商品は運用中に発熱しますので、本商品には長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品から異常音がしたり、本商品が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり、破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、LAN ／ USB ／回線ケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグ、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。
万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります。）

● 付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、本商品の電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品の電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品や電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブル、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、LAN ／ USB ／回線ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、LAN ／ USB ／回線ケーブルなど外部の接続線をすべて抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタ、LAN ／ USB ／回線ケーブルなどが接続されたまま移動すると、電源コードや電源アダプタコード、LAN ／ USB ／回線ケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

● お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。医療事故や、社会的に大きな混乱が発生する原因となることがあります。

● 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。（電源プラグをコンセントから抜くと、ひかり電話サービスはご利用いただけません。）

● 本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。

● 本商品をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

● セキュリティ対策を行わず、あるいは、本商品の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発・火災の原因となります。

注　意

- 付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災・破損の原因となることがあります。
  また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
  電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 本書の設置方法にしたがって、LAN ／ USB ／回線ケーブルの接続や回線の接続を行ってください。間違った接続をすると、接続機器や回線設備の故障の原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグをコンセントから抜いてください。（電源プラグをコンセントから抜くと、ひかり電話サービスはご利用できません。）
- 本商品の上に重い物を乗せないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。けが、破損の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを壁に取り付けるときは、本商品や電源アダプタの重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、LAN ／ USB ／回線ケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
- 本商品の電源を再投入する場合、電源を切った状態から 10 秒以上たったあと、電源を再投入してください。
- 本商品をご使用中、本体や電源アダプタをさわると温かく感じることがありますが、故障ではありませんので、安心してお使いください。
- 本商品に水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴が付いたまま使用すると、故障の原因となることがあります。
- 本商品の動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。本商品の動作中は、接続コード類には絶対に触れないでください。
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号通知のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

目次

4章 管理する

5章 故障かな？と思ったら

6章 付録

本商品のマニュアルについて

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●「最初にお読みください」
　本商品の接続、ひかり電話やルータ機能を使えるようにするまでの手順をわかりやすく説明しています。

●「安全にお使いいただくために必ずお読みください・故障かな？と思ったら」
　＜表面＞
　あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
　＜裏面＞
　トラブルが起きたときや疑問点があるときに読んで対処してください。
　原因や対策を説明しています。

●「取扱説明書」（本書）
　本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●「機能詳細ガイド」
　本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

本商品のマニュアルは、以下のサイトからダウンロードすることが可能です。

【NTT 東日本】
　NTT 東日本 HP トップ→「個人のお客さま」下部「通信機器」－「ビジネス向け機器はこちら」
　　→「商品検索」にて「OG410X/OG810X」を検索
　　https://web116.jp/cgi-bin/ced/search/search.cgi?searchtype=support_b&select=VoIP

【NTT 西日本】
　オフィス光ソリューショントップ→「商品からさがす」ー「ビジネス機器トップへ」ー「ダウンロード」下部「取扱説明書」
　　→「検索」にて
　　■ 商品カテゴリ：「事業所向けひかり電話対応アダプター」を選択
　　■ 商品名：「OG410X/OG810X」を選択
　　■ キーワード：空白
　　→「以上のご利用条件に同意して電子取扱説明書の検索に進む」ボタンを押す。
　　http://flets-w.com/solution/kiki_info/manual/

本書の見かた

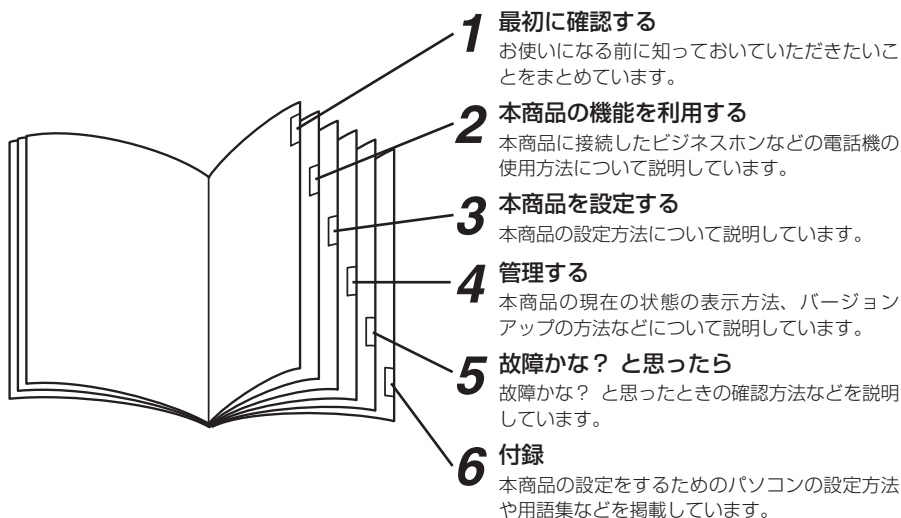
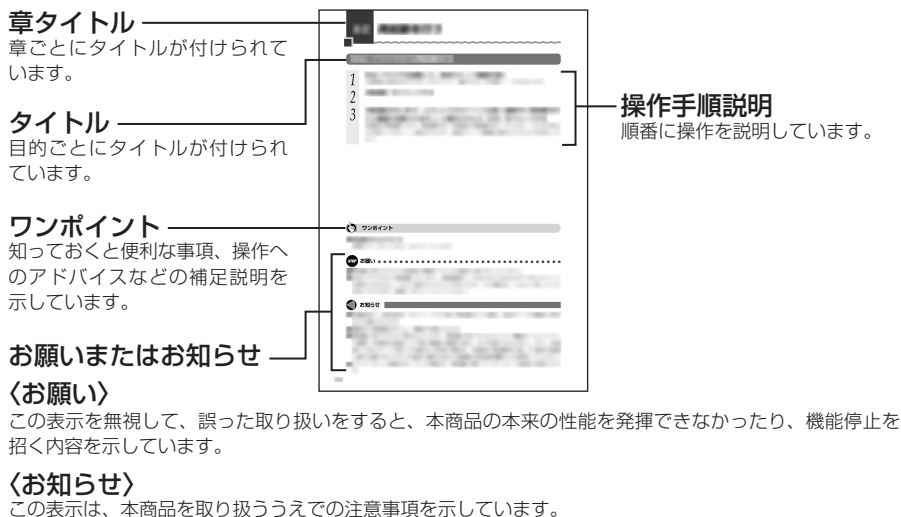
本書の構成

操作説明ページの構成

〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

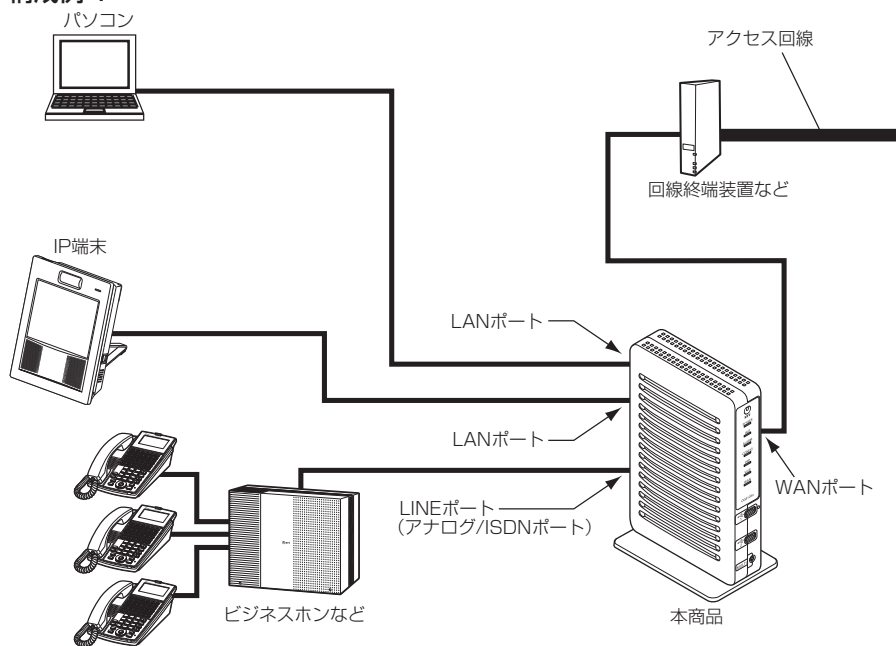
〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

- 本書では、本商品のイラストは OG810Xa を例として記載しています。
- 本書では、画面や手順は Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を例として記載しています。

1 最初に確認する

1-1 本商品でできること

本商品はひかり電話サービス対応機器です。
既設のビジネスホンなどのアナログまたは ISDN 回線収容の機器と接続することで、ひかり電話の利用を可能にするゲートウェイ装置です。
ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィス A（エース）をご利用の場合、1 台で同時に 4 チャネル（OG410Xa/OG410Xi）または 8 チャネル（OG810Xa/OG810Xi）の通話が可能です。また、本商品の LAN ポート下部に最大 8 台までの IP 端末を収容することが可能です。
ひかり電話オフィス A（エース）をご利用の場合、本商品の LAN ポート下部に最大 8 台までの VoIP ゲートウェイ装置を収容して、最大 32 チャネルの同時通話ができます。

構成例 1

ワンポイント

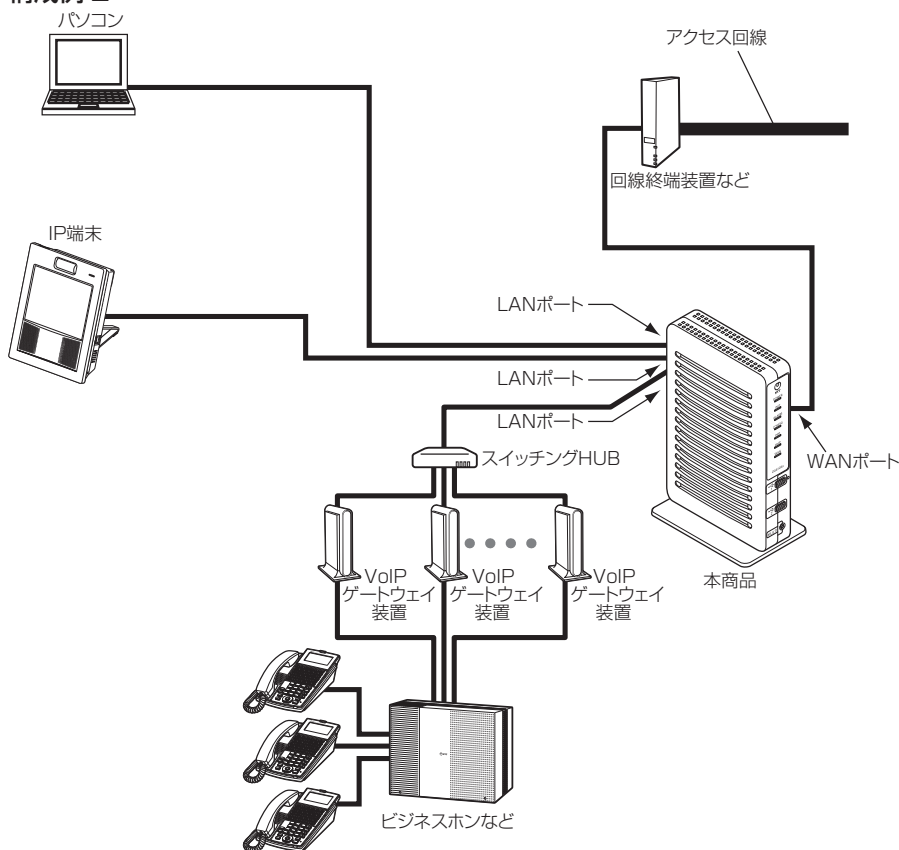
●本商品のブロードバンドルータ機能により、LAN ポート下部に接続したパソコンをインターネットに接続することができます。

お願い

●本商品の LAN ポートに、DHCP サーバ機能を持った機器を接続しないでください。通信が正常にできない場合があります。

お知らせ

●インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。
●本商品はギガビット Ethernet に対応しています。しかし、実際の使用環境によっては通信速度が低下する場合があります。

構成例 2

ワンポイント

●本商品のブロードバンドルータ機能により、LAN ポート下部に接続したパソコンをインターネットに接続することができます。

お願い

●IP 端末は、本商品の LAN ポート下部に接続した VoIP ゲートウェイ装置に接続しないでください。

●本商品の LAN ポートに、DHCP サーバ機能を持った機器を接続しないでください。通信が正常にできない場合があります。

お知らせ

●インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

●本商品はギガビット Ethernet に対応しています。しかし、実際の使用環境によっては通信速度が低下する場合があります。

1-2 特徴

最大 32 チャネルの同時通話が可能
最大 32 チャネルの同時通話ができます。（VoIP ゲートウェイ装置ご利用時）

最大 7000 個の電話番号が利用可能
最大 7000 個の電話番号が利用できます。

IP 端末収容が可能
本商品の LAN ポート下部に IP 端末を収容することで、映像通話、IP 電話会議などが可能です。また、高音質音声での通話が可能です。（IP 端末どうしの通話の場合）

ひかり電話サービスに対応
本商品に接続したビジネスホンなどからひかり電話を利用できます。

VoIP ゲートウェイ接続に対応
本商品の LAN ポート下部に接続した VoIP ゲートウェイ装置配下のビジネスホンなどからひかり電話を利用できます。

固定電話相当の音声品質
音声パケットを優先して扱うので、固定電話相当の音声品質を実現します。

緊急通報も可能
緊急通報（110 番、118 番、119 番）、災害用伝言ダイヤル 171 番が利用できます。

ナンバー・ディスプレイに対応
ナンバー・ディスプレイ対応ビジネスホンなどを利用することで、電話をかけてきた相手の方の電話番号などを表示できます。
※ ご利用には、現在のご契約内容により別途ご契約が必要な場合があります。

ギガビット Ethernet 対応
本商品の LAN/WAN インタフェースは、ギガビット Ethernet に対応しています。

ブロードバンドルータ機能内蔵
ブロードバンドルータ機能を内蔵していますので、本商品の LAN ポート下部に接続したパソコンからインターネットに接続できます。

最新のファームウェアに自動的にバージョンアップ
最新のファームウェアに自動的にバージョンアップします。

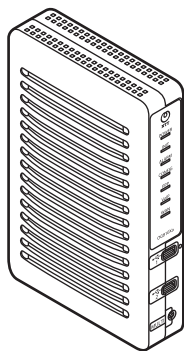
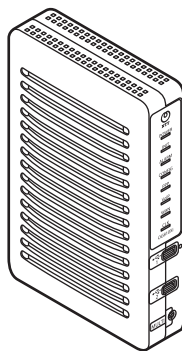
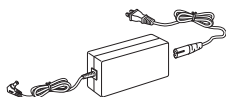
●お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

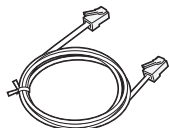
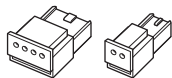
お知らせ

●本書では「ひかり電話」とは、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ 光ネクスト）またはひかり電話オフィスＡ（エース）を利用する電話サービスのことです。
●緊急通報（110 番、118 番、119 番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。
●本商品は、新しいファームウェアを毎日定期的に確認し、新しいファームウェアがある場合、自動的にダウンロードしバージョンアップする機能があります。
●［自動ファームウェア更新］（☛P4-6）を「有効」（初期値）に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動します。
ただし、重要な更新については、［自動ファームウェア更新］（☛P4-6）の設定に関わらず、［自動更新時間］（☛P4-6）に設定した時刻から２時間以内（①本商品を単独でご利用または下部にゲートウェイ装置を収容してご利用の場合は設定時刻＋ 1 時間後から 1 時間以内／②本商品を下部のゲートウェイ装置としてご利用の場合は設定時刻から 1 時間以内）に更新が行われます。更新完了時に通話中の場合は、通話が終わったあと 1 〜 6 分後に再起動します。

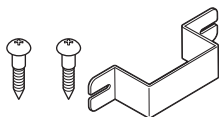
1-3 セットを確認する

■本体

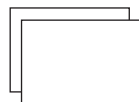
● OG410Xa/OG810Xa の場合

● OG410Xi/OG810Xi の場合

■付属品

電源アダプタ（1 組）

●本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。

LAN ケーブル
（1本／約2m／青色）

クイックコネクタ※ 1

専用スタンド（1 台）

壁掛け用ネジ（2 個）※ 2

電源アダプタ壁掛け用ブラケット・固定ネジ（2 個）※ 2

保証書（1 枚）

NTT 通信機器お取扱相談センタシール（1 枚）

●「最初にお読みください」（1 枚）
●「安全にお使いいただくために必ずお読みください・故障かな？と思ったら」（1 枚）

※ 1 クイックコネクタは、製品によって形状と個数が異なります。

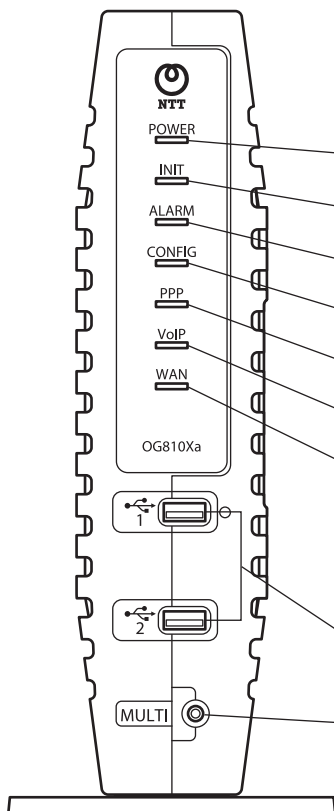
・OG410Xa ：2 芯、4 個
・OG810Xa ：2 芯、8 個
・OG410Xi ：4 芯、3 個
・OG810Xi ：4 芯、5 個

※ 2 壁掛け用ネジと固定ネジは同種類のネジです。

● セットに足りないものがあった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
● 付属品の形状は一例です。

1-4 各部の名称

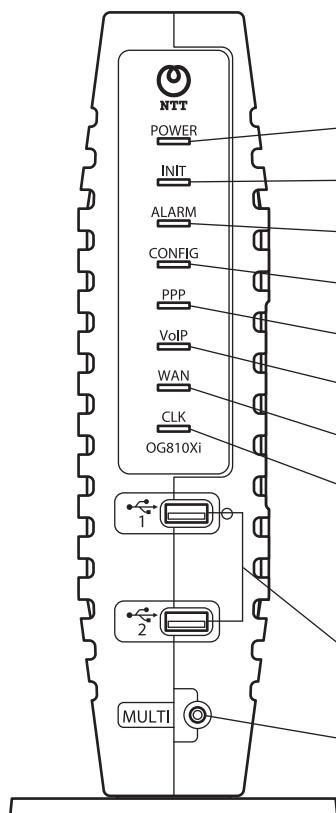
■前面

● OG410Xa（アナログインタフェース〈4 チャネル〉）
● OG810Xa（アナログインタフェース〈8 チャネル〉）

【ランプ表示】

	名称	説明
①	POWER ランプ	電源状態表示
②	INIT ランプ	初期状態表示または メモリアクセス状態表示など
③	ALARM ランプ	動作状態表示
④	CONFIG ランプ	ひかり電話の設定状態表示など
⑤	PPP ランプ	PPP 接続状態表示
⑥	VoIP ランプ	ひかり電話サービス利用状態表示
⑦	WAN ランプ	WAN 回線接続状態表示

＊ 各ランプの詳細説明は、ランプ説明（☛P1-9）を参照してください。

	名称	説明
⑧	USB ポート	USB デバイスを使用してファームウェア更新などを行うときに使用
⑨	多目的ボタン	特定の機能を動作させるための拡張用ボタン

● OG410Xi（ISDN インタフェース〈4 チャネル〉）
● OG810Xi（ISDN インタフェース〈8 チャネル〉）

【ランプ表示】

	名称	説明
①	POWER ランプ	電源状態表示
②	INIT ランプ	初期状態表示または メモリアクセス状態表示など
③	ALARM ランプ	動作状態表示
④	CONFIG ランプ	ひかり電話の設定状態表示など
⑤	PPP ランプ	PPP 接続状態表示
⑥	VoIP ランプ	ひかり電話サービス利用状態表示
⑦	WAN ランプ	WAN 回線接続状態表示
⑧	CLK ランプ	外部同期状態表示

＊ 各ランプの詳細説明は、ランプ説明（☛P1-9）を参照してください。

	名称	説明
⑨	USB ポート	USB デバイスを使用してファームウェア更新などを行うときに使用
⑩	多目的ボタン	特定の機能を動作させるための拡張用ボタン

【ランプ説明】

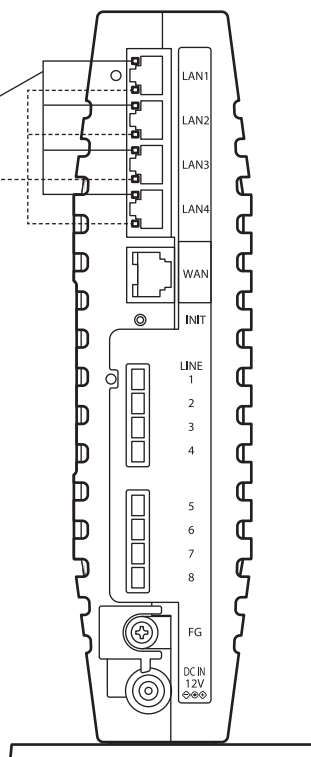
ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
①POWER ランプ	消灯	電源が切れているとき
	点灯（緑）	電源が入っているとき
	点滅（緑）	省エネモードのとき
②INIT ランプ	消灯	通常の状態のとき
	点灯（赤）	初期状態（お買い求め時の状態）のとき
	点滅（赤）	メモリにデータを書き込み中のとき
	点滅（橙）	IP アドレスが重複しているとき
③ALARM ランプ	消灯	正常な状態のとき
	点灯（赤）	本商品が故障しているとき
	点滅（赤）	USB デバイスへ書き込みが失敗または USB デバイスから読み込みが失敗したとき
④CONFIG ランプ	消灯	ひかり電話の設定がされていないとき
	点灯（緑）	ひかり電話の設定が完了しているとき
	点滅（緑）	ひかり電話の設定をしているとき
	点灯（赤）	ひかり電話の設定が失敗したとき（認証エラー）
	点滅（赤）	ひかり電話の設定が失敗したとき（その他のエラー）
	点灯（橙）	USB デバイスを認識したとき
	点滅（橙）	USB デバイスへ書き込みまたは USB デバイスから読み込みしているとき
⑤PPP ランプ	消灯	すべてのセッションが未接続のとき
	点灯（緑）	接続しているとき
	点滅（緑）	接続トライ中のとき
	点灯（赤）	すべてのセッションが接続エラーのとき
	点滅（緑 / 橙）	通信中と未接続のセッションが混在しているとき
	点滅（緑 / 赤）	通信中と接続エラーのセッションが混在しているとき
	点滅（橙 / 赤）	未接続と接続エラーのセッションが混在しているとき
	点滅(緑 / 橙 / 赤)	通信中と未接続、接続エラーのセッションが混在しているとき
⑥VoIP ランプ	消灯	ひかり電話サービスが利用できないとき
	点灯（緑）	ひかり電話サービスが利用できるとき
	点滅（緑）	ひかり電話サービスを使用しているとき（通話中、着信中、呼出中など）
⑦WAN ランプ	消灯	回線終端装置などに接続していないとき
	点灯（緑）	回線終端装置などに接続しているとき
	点滅（緑）	回線終端装置などとデータ通信しているとき
⑧CLK ランプ（OG410Xi/OG810Xi のみ）	消灯	外部同期していないとき
	点灯（緑）	外部同期しているとき

■背面

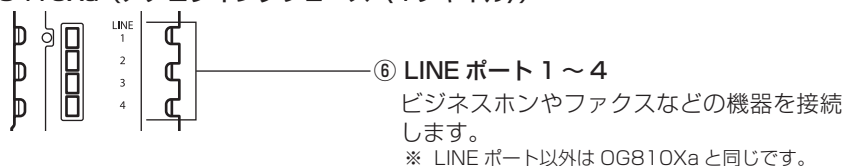
● OG810Xa（アナログインタフェース〈8 チャネル〉）

【ランプ表示】

	名称	説明
①	10/100/1000BASE-T ランプ	LAN インタフェースの接続速度表示
②	LINK ランプ	LAN 回線接続状態表示

LAN1
LAN2
LAN3
LAN4
WAN
INIT
LINE
1
2
3
4
5
6
7
8
FG
DC IN
12V

【ランプ説明】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
① 10/100/1000BASE-T ランプ（4 個）	消灯	10Mbps でデータ送受信できるとき
	点灯（橙）	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できるとき
②LINK ランプ（4 個）	消灯	LAN が利用できないとき
	点灯（緑）	LAN が利用できるとき
	点滅（緑）	LAN でデータ通信しているとき

● OG810Xa（アナログインタフェース〈8 チャネル〉）

LAN1
LAN2
LAN3
LAN4
WAN
INIT
LINE 1 2 3 4 5 6 7 8
FG
DC IN 12V

③ LAN ポート
IP 端末または VoIP ゲートウェイ装置やパソコンなどを接続します。

④ WAN ポート
回線終端装置などと接続します。

⑤ 初期化スイッチ（INIT）
本商品をお買い求め時の状態に戻すときに使います。
発信や着信ができなくなるため、工事担当者以外使用しないでください。

⑥ LINE ポート 1 〜 8
ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

⑦ FG 端子
アースに接続します。

⑧ 電源アダプタコード端子
電源アダプタを接続します。

● OG410Xa（アナログインタフェース〈4 チャネル〉）

ワンポイント

●**本商品をお買い求め時の状態に戻すには**
工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください。（有料）

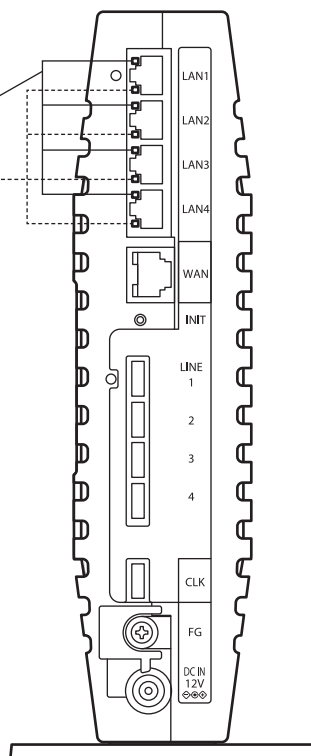
お知らせ

●IP 端末、VoIP ゲートウェイ装置およびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。

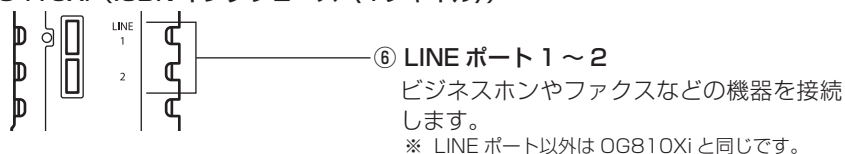
● OG810Xi（ISDN インタフェース〈8 チャネル〉）

【ランプ表示】

	名称	説明
①	10/100/1000BASE-T ランプ	LAN インタフェースの接続速度表示
②	LINK ランプ	LAN 回線接続状態表示

LAN1
LAN2
LAN3
LAN4
WAN
INIT
LINE 1
2
3
4
CLK
FG
DC IN 12V

【ランプ説明】

ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
① 10/100/1000BASE-T ランプ（4 個）	消灯	10Mbps でデータ送受信できるとき
	点灯（橙）	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できるとき
②LINK ランプ（4 個）	消灯	LAN が利用できないとき
	点灯（緑）	LAN が利用できるとき
	点滅（緑）	LAN でデータ通信しているとき

● OG810Xi（ISDN インタフェース〈8 チャネル〉）

③ LAN ポート
IP 端末または VoIP ゲートウェイ装置やパソコンなどを接続します。

④ WAN ポート
回線終端装置などと接続します。

⑤ 初期化スイッチ（INIT）
本商品をお買い求め時の状態に戻すときに使います。
発信や着信ができなくなるため、工事担当者以外使用しないでください。

⑥ LINE ポート 1 ～ 4
ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

⑦ CLK ポート
本商品とビジネスホンの ISDN 外線ユニットなどで同期をとる場合に使用します。

⑧ FG 端子
アースに接続します。

⑨ 電源アダプタコード端子
電源アダプタを接続します。

● OG410Xi（ISDN インタフェース〈4 チャネル〉）

⑥ LINE ポート 1 ～ 2
ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。
※ LINE ポート以外は OG810Xi と同じです。

ワンポイント

●**本商品をお買い求め時の状態に戻すには**
工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください。（有料）

お知らせ

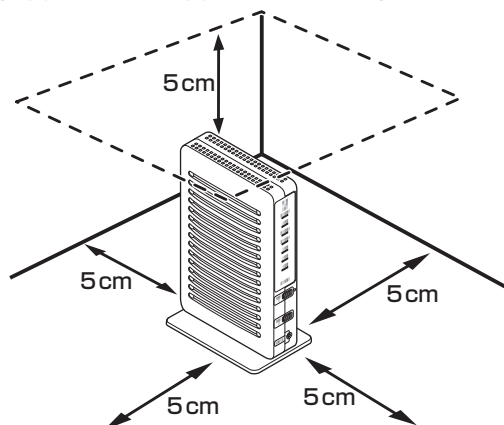
●IP 端末、VoIP ゲートウェイ装置およびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。

1
最初に確認する

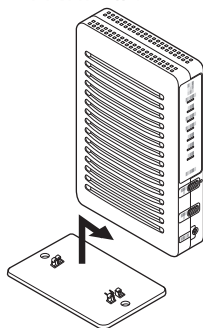
1-5 設置・接続

本商品は専用スタンドを取り付けて縦置きで設置する他に、横置きにしたり、壁に取り付けることができます。どの設置方法でも必ず専用スタンドを取り付けてご使用ください。

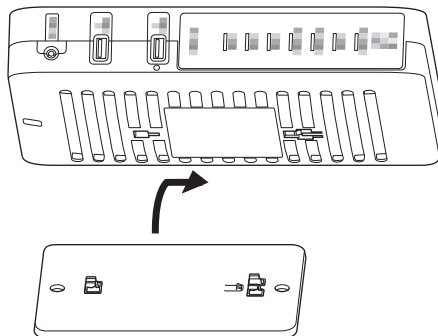
本商品を設置する

本商品は、前後左右５ cm、上５ cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。（壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。）

換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となります。

縦置きにする

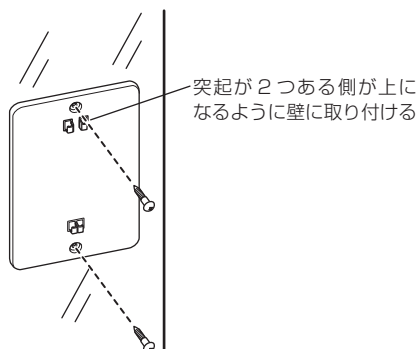
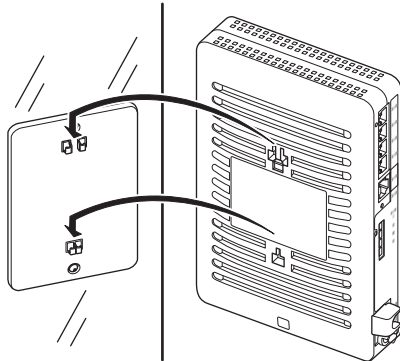
付属品の専用スタンドを使用して、本商品を縦置きすることができます。

- 縦置き時には必ず専用スタンドを使用してください。
- 本商品の周辺には、パソコンや壁などのものがないように設置してください。
  換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となります。

横置きにする

付属品の専用スタンドを使用して、本商品を横置きすることができます。

●横置き時には必ず専用スタンドを使用してください。
●本商品の上部には、なにも置かないでください。換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因となります。

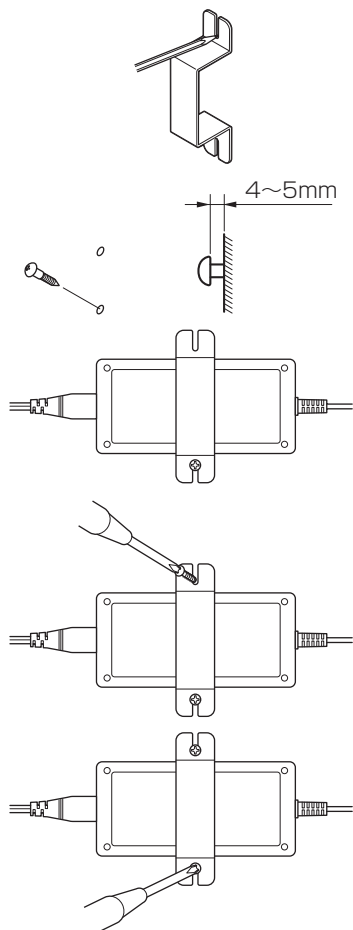
壁掛けにする

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ16mm）2個を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 専用スタンドを底面が壁側になるように、付属品の壁掛け用ネジで取り付ける

2 本商品を壁に取り付けた専用スタンドに引っ掛ける

- 壁掛け時には必ず専用スタンドを使用してください。
- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが・破損の原因となることがあります。

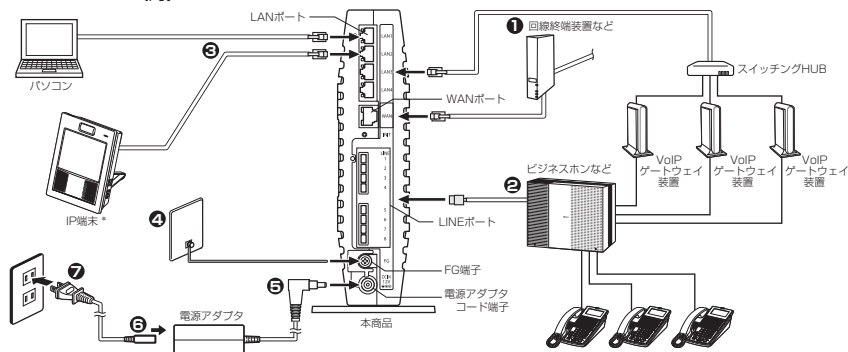
電源アダプタを壁に取り付ける

電源アダプタを壁に取り付けて使用することができます。
付属品の電源アダプタ壁掛け用ブラケットと固定ネジ（長さ 16mm）2 個を使って壁や柱などに取り付けてください。

1. 電源アダプタ壁掛け用ブラケットを取り付け位置に当て、固定ネジの取り付け位置（上下幅 75mm）に印を付ける
2. 下側の固定ネジ（長さ 16mm）を壁に取り付ける
   このとき、ネジの頭を壁より約 4 ～ 5mm 程度出した状態にしてください。
3. 電源アダプタ壁掛け用ブラケットを電源アダプタにかぶせ、下側の U 字穴を壁に取り付けた固定ネジに引っ掛ける
4. 固定ネジ（長さ 16mm）を電源アダプタ壁掛け用ブラケットの上側の U 字穴に差し込み、固定ネジを締める
5. 電源アダプタ壁掛け用ブラケットの下側の固定ネジを締める

- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に電源アダプタを取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが・破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは水平に取り付けてください。垂直に取り付けた場合、コードを引いたときに電源アダプタが落下して、けが・破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは動かないようにしっかりと固定してください。電源アダプタが落下して、けが・破損の原因となることがあります。

回線に接続する

本商品と回線、ビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。
本商品の接続は工事担当者が行います。
本商品は、次のような構成で接続することができます。

（OG810Xa の例）

＊ IP 端末は、ひかり電話をご利用の場合のみ接続することができます。

1 本商品を回線終端装置などに接続する

回線終端装置などと､本商品の WAN ポートを付属品の LAN ケーブルで接続します。

2 本商品をビジネスホンなどの機器に接続する

本商品の LINE ポートにビジネスホンやファクスなどの機器を接続します。

3 本商品と IP 端末およびパソコンなどを接続する

本商品の LAN ポートと IP 端末およびパソコンなどを LAN ケーブルで接続します。
VoIP ゲートウェイ装置を使用する場合は、本商品の LAN ポートに LAN ケーブルで接続します。

4 アース線を FG 端子に接続する

落雷などによる人身や装置の損傷を防ぐため、必ず接続してください。
アース線は、お手もとの環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

5 電源アダプタの DC プラグを本商品の電源アダプタコード端子に接続する

6 電源コードの電源アダプタ側プラグを電源アダプタに接続する

7 電源プラグをコンセントに接続する

お知らせ

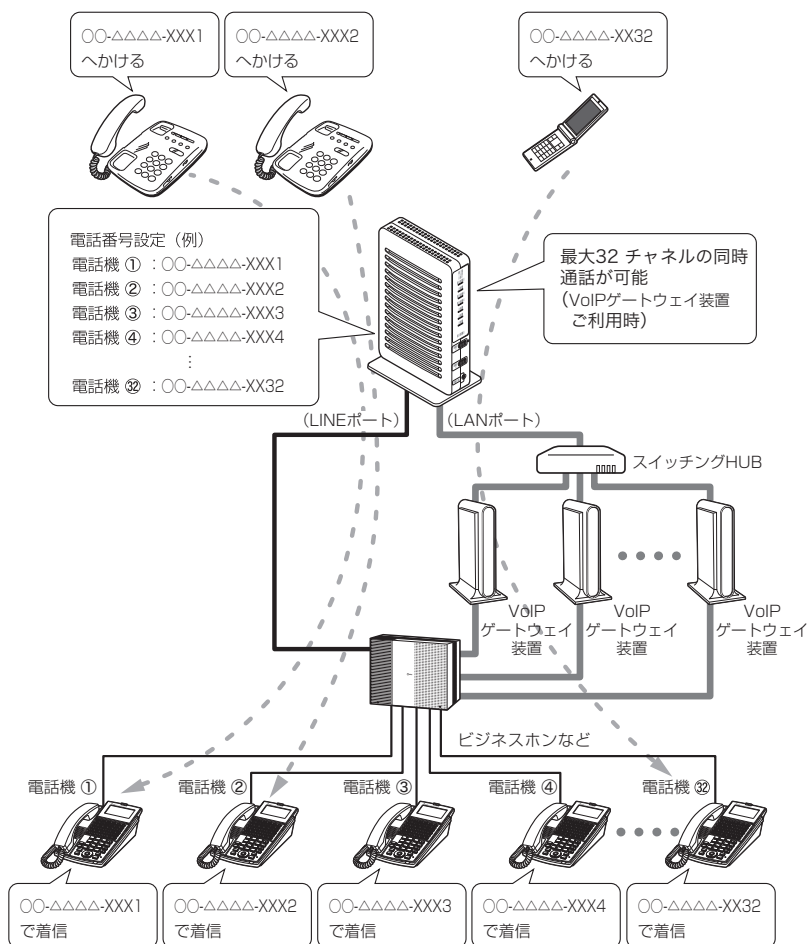
●IP 端末およびパソコンなどの設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●本商品の LAN ポート下部に最大 8 台までの IP 端末と 8 台までの VoIP ゲートウェイ装置を収容することが可能です。

2 本商品の機能を利用する

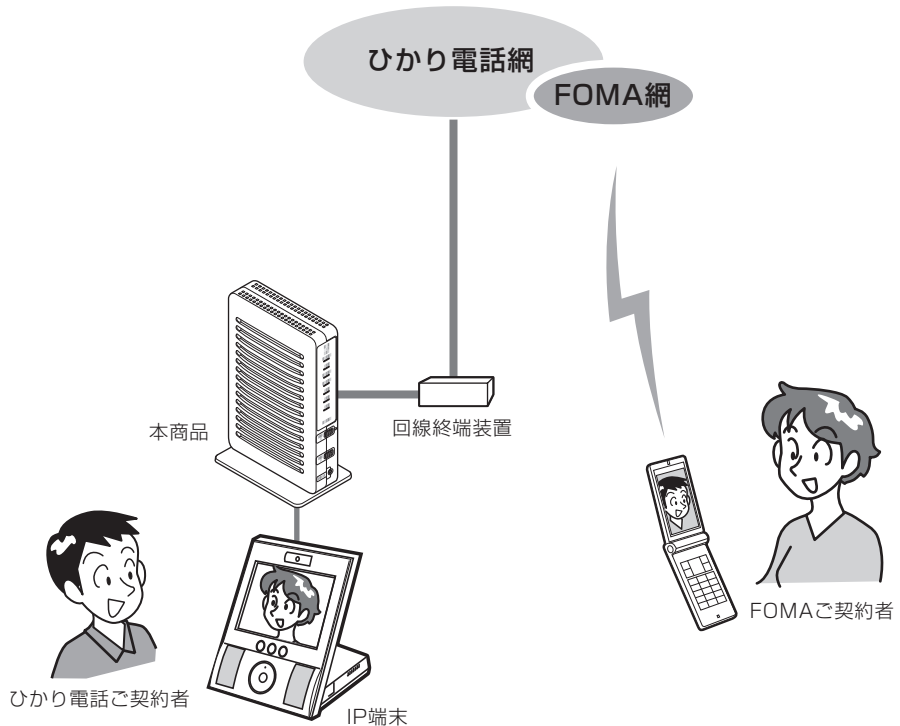
2-1 ひかり電話を利用する

ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

同時に複数の通話および複数の電話番号を利用する

本商品に接続したビジネスホンを使用して同時に 4 チャネル（OG410Xa/OG410Xi）または 8 チャネル（OG810Xa/OG810Xi）の相手先と通話することができます。
また、本商品の LAN ポート下部に最大 8 台までの VoIP ゲートウェイ装置を接続して、最大 32 チャネルの同時通話ができます。

IP 端末収容が可能

ひかり電話をご利用の場合、本商品の LAN ポート下部に IP 端末を収容することで、映像通話、IP 電話会議などが可能です。また、高音質音声での通話が可能です。（IP 端末どうしの通話の場合）

ひかり電話網
FOMA網
本商品
回線終端装置
ひかり電話ご契約者
IP端末
FOMAご契約者

ワンポイント

●LAN ポートに収容した IP 端末の内線番号は、「10 ～ 99」の 2 桁となります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●本商品の LINE ポートに接続したビジネスホンなどと、本商品の LAN ポートに収容した IP 端末との内線通話はできません。

お知らせ

●IP 端末は、お客様にてご用意ください。IP 端末の設定方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●高音質通話、映像通話、IP 電話会議などは、それぞれに対応した機器が必要です。

電話のかけかた

1 ビジネスホンの外線ランプが消灯していることを確認し、外線ボタンを押す

「ツー」という発信音を確認してください。

2 ハンドセット（受話器）を取りあげる

3 電話番号を押す

4 呼出音が聞こえる

5 相手の方が出たら通話する

6 通話が終わったら、ハンドセット（受話器）を置く

ワンポイント

●最後の番号を押してから約6秒たつと、電話番号の終了と判定し発信します。（OG410Xa/OG810Xaで桁間タイマ設定が「6秒（初期値）」の場合）
すぐに発信させたい場合は番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。（OG410Xa/OG810Xaでダイヤル種別設定が「PB（初期値）」の場合）

お知らせ

●本商品に接続しているビジネスホンなどのACRなどの機能が動作している際、ひかり電話サービスが使用できない場合があります。必ずビジネスホンなどのACRなどの機能は停止させてください。
●ひかり電話サービスをご利用になる前に、本商品のVoIPランプ（☛P1-9）が点灯していることを必ず確認してください。
●以下の場合は、ひかり電話サービスはご利用になれません。
・停電のとき（POWERランプ（☛P1-9）消灯）
・本商品がひかり電話サービスの設定に失敗しているとき（VoIPランプ（☛P1-9）消灯）
・本商品が再起動中のとき
●ひかり電話サービスでの通話中に本商品の電源が切れたときや本商品の再起動を行った場合は、通話が切断されます。
●ひかり電話サービスでファクスやアナログモデム通信を行った際や、通話中に音声ガイドなどでプッシュ信号の入力が必要な際に、通信に失敗する場合があります。このとき、失敗した通信に対しても通信料がかかります。
●ひかり電話サービスの通話品質は、回線の接続状況によって十分な帯域が確保できないときに低下する場合があります。
●ひかり電話をご利用の場合、緊急通報（110番、118番、119番）、災害用伝言ダイヤル171番に対応しています。一般の電話と同じようにダイヤルしてください。
●緊急通報（110番、118番、119番）に発信した際は、呼び返しが来る場合がありますので、すべての通話を終了してお待ちください。
●本商品に通話料金表示機能や、通話時間表示機能などのある機器を接続した際に、おかけになった電話番号によっては、通話料金や通話時間が正常に表示されない場合があります。

電話の受けかた

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅する

2 ランプが点滅している外線ボタンを押す

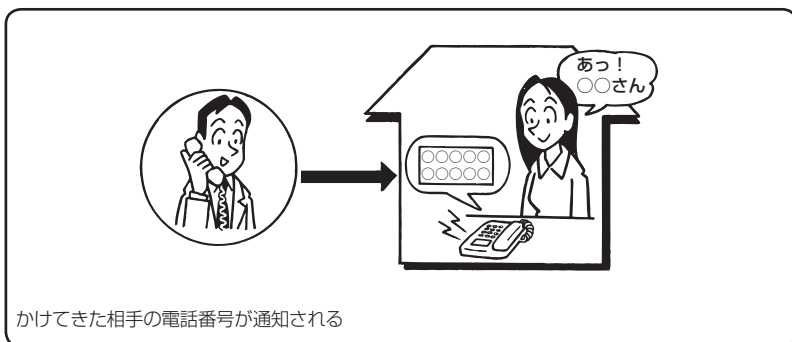
3 ハンドセット(受話器)を取りあげて、相手の方と通話する

4 通話が終わったら､ハンドセット（受話器）を置く

2-2 ひかり電話サービスを利用する

本商品に接続したビジネスホンなどから相手の方と通話することができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機に表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。

かけてきた相手の電話番号が通知される

お知らせ

- 接続したビジネスホンなどの機器がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。
- ご利用には、現在のご契約内容により別途ご契約が必要な場合があります。

その他のサービス

ひかり電話では、以下のサービスをご利用できます。

■ボイスワープ

かかってきた電話をあらかじめ指定した電話番号に転送するサービスです。呼び出し音を鳴らさずに直接転送したり、お話し中のときだけや大切な電話番号からかかってきたときにだけ転送することもできます。

■ナンバー・リクエスト

電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、「電話番号を通知してかけ直すよう」自動音声で伝えるサービスです。

■迷惑電話おことわりサービス

迷惑電話を受けた直後に、電話機で登録操作を行うことにより、以降同じ電話番号からかかってきた場合には、お客様に代わって「この電話はお受けできません。ご了承ください。」と自動的にメッセージで応答するサービスです。

■グループダイヤリング

本サービス契約者間（同一内線グループ）※において、お客様番号（事業所番号＋内線番号）により通話できるサービスです。

オプション機能をご契約いただくことにより、1 契約回線に、複数の事業所番号（追加で 9 事業所番号、最大 10 事業所番号）を利用できます。

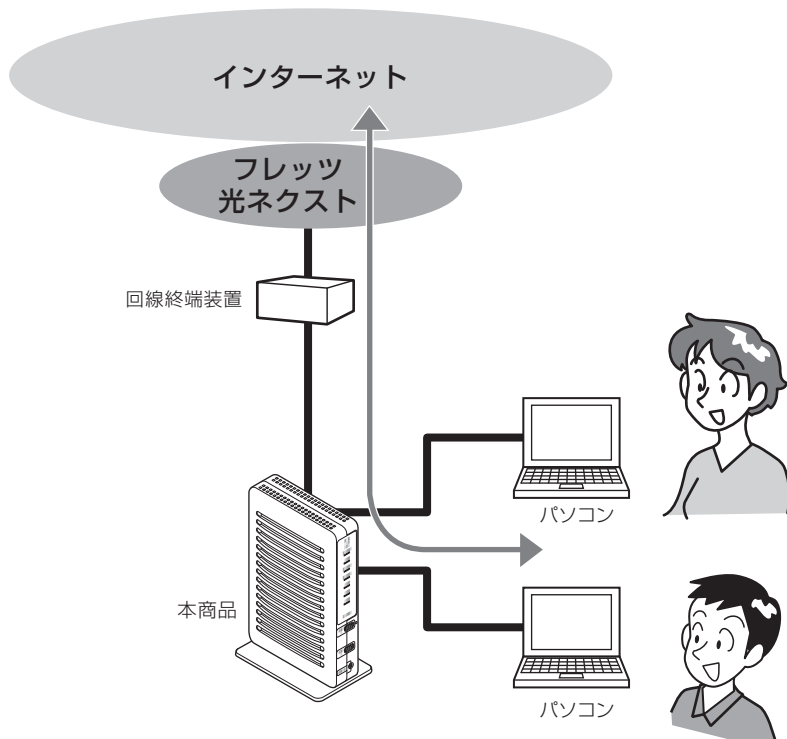
※ 同一内線グループとは、本サービスを契約し、グループ通話定額のグループ登録がされている契約者で構成されるグループをいいます。

お知らせ

●ご利用には、現在のご契約内容により別途ご契約が必要な場合があります。
●詳しい操作方法は、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

2-3 ルータ機能を利用する

インターネットに接続する

本商品のブロードバンドルータ機能により、本商品の LAN ポート下部に接続したパソコンからインターネットに接続することができます。
インターネットに接続するためには、プロバイダの接続設定を行う(☛P3-13)必要があります。

お知らせ

●インターネットに接続する場合は、別途プロバイダとの契約が必要です。

サービス情報サイトを利用する

■サービス情報サイト

「サービス情報サイト」は、フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイトです。

■サービス情報サイトに接続する

1. パソコンのWebブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

2. 「サービス情報サイト」のURLを入力し、ページを開く

   ■ フレッツ光ネクストに接続した場合（NTT東日本 / 西日本エリアのお客様）

   NTT東日本エリアのお客様：http://flets-east.jp/
   NTT西日本エリアのお客様：http://flets-west.jp/

お知らせ

●フレッツサービスの詳細は、NTT東日本 /NTT西日本のホームページを参照してください。
NTT東日本ホームページ：http://flets.com/
NTT西日本ホームページ：http://flets-w.com/

ブロードバンドルータとして利用する

本商品では、ブロードバンドルータ機能が利用できます。ブロードバンドルータ機能の設定については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

「機能詳細ガイド」をダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」（☛P10）を参照してください。

3 本商品を設定する

3-1 本商品の設定

本商品の電話機能の設定は工事担当者が実施しますので、お客様による設定は不要です。番号の追加、ダイヤルイン設定の変更など、本商品のひかり電話サービスに関する設定変更が必要な場合は当社のサービス取扱所にご相談ください。
なお、インターネットに接続するための設定はお客様で登録、変更いただけます。

お客様で登録・変更いただける設定項目

■ 基本設定　　　　　　　　：ログインアカウントや時刻などを設定します。
■ かんたん設定ウィザード：PPPoE セッションを設定します。
■ ルータ設定　　　　　　　：ルータ機能の詳細を設定します。
■ 保守　　　　　　　　　　：バージョンアップなどの保守機能を実行します。
■ レポート表示　　　　　　：本商品の現在の状態を表示します。

●本商品は以下の OS および Web ブラウザに対応しています。

対応 OS	対応ブラウザ
Windows® RT	Internet Explorer® 10.0
Windows® 8.1	Internet Explorer® 11.0
Windows® 8	Internet Explorer® 10.0
Windows® 7（SP1）	Internet Explorer® 8.0,9.0,10.0 または 11.0
Windows Vista®（SP2）	Internet Explorer® 8.0 または 9.0

●設定画面や構成は 2014 年 9 月現在のものです。ファームウェアの更新により、設定画面や構成が変わる場合があります。
●設定画面にて「¥」を入力した際に、Web ブラウザのフォント設定によっては「\」と表示される場合があります。本書では「¥」に統一して記載しています。

設定の流れ

本商品の LAN ポートにパソコンを接続する
本商品の電源を入れる
パソコンの電源を入れる
パソコンのネットワークを確認する（☛P6-2）
Web ブラウザを設定する（☛P6-6）
設定画面にログインする（☛P3-4）
本商品を設定する（☛P3-4）

本商品の設定を行うには（ログイン）

本商品に接続したパソコンの Web ブラウザで各種設定を行うことができます。
画面は Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 の例です。

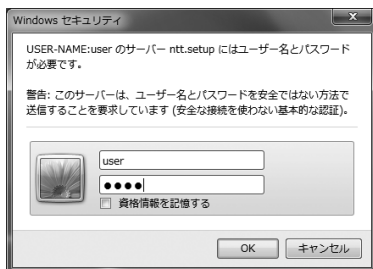
1 本商品に接続したパソコンで Web ブラウザを起動する

2 Web ブラウザのアドレス欄に「http://ntt.setup/」または「http://192.168.1.1/」と入力し、「Enter」キーを押す

本商品の IP アドレスの初期値は「192.168.1.1」です。

3 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名初期値	user
パスワード初期値	user

入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。
パスワードは変更することができます。
(☛P3-8)

4 「Web 設定」のトップ画面が表示されます

左側のメニューにある項目をクリックすると、各設定画面が表示されます。
メニュー項目の左側に ▶ が表示されている場合は、メニュー項目をクリックするとサブメニュー項目が表示されます。

ワンポイント

●設定画面を終了する場合は、ウィンドウの［x］をクリックして Web ブラウザを閉じてください。

お願い

●設定画面での操作は、画面内に配置されているボタンなどで行ってください。Web ブラウザのボタンやキーボードでのショートカットを使用すると、正常に動作しない場合があります。

お知らせ

●［設定保存］をクリックする前に再起動をしたり、停電があった場合、設定データは保存されません。［設定保存］を最後にクリックしたときの値が設定データとなります。
●画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
●ログイン画面や設定画面に表示されている機種名は一例です。

3-2 基本情報設定

本商品に接続したパソコンの Web ブラウザで各種設定を行うことができます。ここでは、下記の基本情報の設定について説明します。

[基本設定] について

■ 装置名称設定

■ ユーザ用アカウント設定

■ 時刻設定

[かんたん設定ウィザード] について

■ かんたん設定（ルータ機能）

お知らせ

●他の設定項目については、「お客様で登録･変更いただける設定項目」（☛P3-2）を参照してください。

装置名称を設定する

本商品の名称を設定することができます。

1 **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2 **［基本設定］をクリックする**

3 **［装置名称設定］をクリックする**

4 **［装置名称］に本商品の名称を入力する**
全角文字、半角英数字と記号（「;」「"」「'」「¥」「<」「>」を除く）10 文字以内で入力します。（初期値：GW 装置）

5 **［設定保存］をクリックする**
設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［トップページへ戻る］をクリックしてください。

ユーザ用アカウントを設定する

設定画面にログインするためのパスワードを設定します。

1 **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2 **［基本設定］をクリックする**

3 **［ユーザ用アカウント設定］をクリックする**

4 **［パスワード］にパスワードを入力する**
半角英数字と記号（「-」「/」「_」）で、16 文字以内で入力します。
入力したパスワードは、「●●●●」で表示されます。

5 **［設定保存］をクリックする**
設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［トップページへ戻る］をクリックしてください。

STOP お願い

●設定したパスワードを忘れてしまうと、本商品へのログインができなくなります。パスワードは忘れないようにご注意ください。万一パスワードを忘れてしまった場合には、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

時刻を設定する

本商品に現在時刻を設定します。また、時刻の自動取得を設定します。

1　**Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2　**［基本設定］をクリックする**

3　**［時刻設定］をクリックする**

（次ページへ続く）

各項目を設定する

■ 時刻入力

[時刻入力]

現在時刻を半角数字と記号で、「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」（YYYY：西暦年、MM：月、DD：日、hh：時（24 時間制）、mm：分、ss：秒）の形式で入力してください。
DD と hh の間に半角スペースを入れてください。
＜例＞ 2014 年 4 月 19 日 10 時 10 分 10 秒の場合
2014/04/19 10:10:10
時刻入力が空欄の場合は、現在時刻の変更を行いません。

■ 自動取得設定

[取得機能]（初期値：有効）

自動取得機能を利用するかどうかを指定します。

[サーバアドレス設定方法]（初期値：自動）

サーバアドレスの設定方法を指定します。

- **自動**
  NTP サーバのアドレスを自動的に取得します。
- **手動**
  NTP サーバのアドレスを手動で設定します。
  ［NTP サーバ］にサーバアドレスを設定してください。

[NTP サーバ]

NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。

5 ［設定保存］をクリックする

設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［トップページへ戻る］をクリックしてください。

お知らせ

●自動取得設定の取得機能を「有効」に設定した場合は、時刻取得時に現在時刻が更新されます。

お願い

●本商品の電源を切った状態が 3 日以上続いた際に、設定した時刻が初期値（2014 年 1 月 1 日 00 時 00 分 00 秒）に戻る場合があります。
現在時刻の時刻入力を行うか、自動取得設定の取得機能を「有効」に設定している場合は、時刻の自動取得を行うと時刻が設定されます。

［かんたん設定（ルータ機能）］を使用する

最大 5 個までの PPPoE セッションを設定できます。
プロバイダの接続設定など、主に使用するセッションは PPP1 に設定してください。

1　**Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2　**［かんたん設定ウィザード］→［かんたん設定（ルータ機能）］をクリックする**

（次ページへ続く）

3 各項目を設定する

かんたん PPPoE 設定において、（PPP1）～（PPP5）の設定ができます。
利用しない PPPoE セッションについて設定する必要はありません。

■ かんたん PPPoE 設定（PPP1）

［インタフェース名］

インタフェースの名称を入力します。
半角英数字と記号（「-」「/」「_」）8 文字以内で入力します。

［セッション］（初期値：無効）

設定を有効にするには、［有効］をクリックして選択します。

［ユーザ名］

プロバイダから指定された PPPoE 認証用の ID を半角英数字と記号（「;」「"」「'」「¥」「<」「>」「　」〈スペース〉を除く）128 文字以内で入力します。

［パスワード］

プロバイダから指定された PPPoE 認証用のパスワードを半角英数字と記号（「;」「"」「'」「¥」「<」「>」「　」〈スペース〉を除く）128 文字以内で入力します。

4 ［設定保存］をクリックする

設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［トップページへ戻る］をクリックしてください。

5 「設定内容を保存しました。」と表示されたら［OK］をクリックする

6 「かんたん設定ウィザードでの設定が完了しました。」と表示されたら［トップページへ戻る］をクリックする

ルータ設定

プロバイダの接続設定

本商品のブロードバンドルータ機能を使ってインターネットに接続する場合にプロバイダの接続設定を行います。

1. **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
   「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。
2. **［ルータ設定］をクリックする**
3. **［WAN インタフェース設定］をクリックする**
4. **［接続先（PPPoE)］をクリックする**

（次ページへ続く）

5 設定を行うインタフェースの［編集］をクリックする

通常は PPP1 を使用します。

6 各項目を設定する

■ **基本設定**

[インタフェース名]（初期値：PPP1 ～ PPP5）

インタフェースの名称を入力します。
半角英数字と記号（「-」「/」「_」）8 文字以内で入力します。

[セッション]（初期値：無効）

設定を有効にするには、「有効」をクリックして選択します。

[接続モード]（初期値：要求時接続（自動切断する））

PPPoE セッションの接続モードを指定します。

・**要求時接続（自動切断する）**
WAN 側にインターネットアクセスしたときに、接続を開始します。
無通信状態が一定時間続いた場合、自動的に切断します。

・**要求時接続（自動切断しない）**
WAN 側にインターネットアクセスしたときに、接続を開始します。

・**常時接続**
常に接続します。

[自動切断するまでの時間（秒）]（初期値：1800）

要求時接続（自動切断する）に設定しているときに自動切断するまでの時間を入力します。
設定範囲：60 ～ 86400

■ **認証設定**

[ユーザ名]

プロバイダから指定された PPPoE 認証用の ID を半角英数字と記号（「;」「"」「'」「¥」「<」「>」「　」〈スペース〉を除く）128 文字以内で入力します。

[パスワード]

プロバイダから指定された PPPoE 認証用のパスワードを半角英数字と記号（「;」「"」「'」「¥」「<」「>」「　」〈スペース〉を除く）128 文字以内で入力します。

[認証方式]（初期値：自動認証）

PPPoE セッションの認証方式を指定します。

- **暗号化されていないパスワード（PAP）**
- **チャレンジハンドシェーク認証プロトコル（CHAP）**
- **自動認証**
  サーバから要求された認証方式に合わせて接続します。

（次ページへ続く）

■ IPv4 アドレス設定

[アドレス設定方法]（初期値：IP アドレスの自動取得）

IP アドレスの取得方法を指定します。

- **IP アドレスの自動取得**
  プロバイダから自動的に割り当てられる IP アドレスを使用する場合に選択します。プロバイダから特に指定がない限りは、「IP アドレスの自動取得」を選択します。
- **IP アドレスの手動設定**
  固定 IP アドレスサービスを使用して、グローバル IP アドレスが指定されている場合に選択します。
- **Unnumbered**
  プロバイダから割り当てられた複数のグローバル IP アドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定する場合に選択します。

[IP アドレス]

［アドレス設定方法］で「IP アドレスの手動設定」を選択した場合に、プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。

[マスク長]

送信元 IP アドレスに対するマスクのビット数を表す数値を入力します。
設定範囲：1 ～ 30

[払い出し DNS サーバアドレス利用]

払い出し DNS サーバアドレスを利用するかどうかを指定します。

[プライマリ DNS サーバアドレス]

払い出し DNS サーバアドレスを利用しない場合は、プロバイダから指定されたプライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

[セカンダリ DNS サーバアドレス]

払い出し DNS サーバアドレスを利用しない場合は、プロバイダから指定されたセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

■ 詳細設定

[MTU 値]（初期値：1454）

1 回の転送で送信できるデータの最大値を入力します。
設定範囲：576 ～ 1492

[MRU 値]（初期値：1492）

1 回の転送で受信できるデータの最大値を入力します。
設定範囲：576 ～ 1492

[PPP キープアライブ機能]（初期値：使用する）

PPP キープアライブ機能を使用するかどうかを指定します。

[LCP ECHO 送信間隔（秒）]（初期値：60）

LCP ECHO 送信間隔を入力します。
設定範囲：1 ～ 255

[LCP ECHO リトライ送信間隔（秒）]（初期値：10）

LCP ECHO リトライ送信間隔を入力します。
設定範囲：1 ～ 255

[LCP ECHO リトライ回数（回）]（初期値：10）

LCP ECHO リトライ回数を入力します。
設定範囲：1 ～ 255

■ **セキュリティ設定**

［ステルスモード］（初期値：有効）

ステルスモード機能を利用するかどうかを指定します。

［攻撃検出］（初期値：有効）

攻撃検出機能を利用するかどうかを指定します。

7 ［設定保存］をクリックする

設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［前のページへ戻る］をクリックしてください。

8 「接続先変更のため回線接続中は、回線が切断されます。よろしいですか？」と表示されたら［OK］をクリックする

お知らせ

●［アドレス設定方法］を「Unnumbered」に設定する場合は、下記設定を行う必要があります。

・［IPv4 アドレス設定］の［プライマリ DNS サーバアドレス］
・［IPv4 アドレス設定］の［セカンダリ DNS サーバアドレス］
・［LAN インタフェースの設定］（☛「機能詳細ガイド」P2-20）の［IPv4 アドレス設定］の［IP アドレス］と［マスク長］
・［LAN インタフェースの設定］（☛「機能詳細ガイド」P2-20）の［DHCPv4 サーバ設定］の［DHCPv4 サーバ機能］を「無効」に設定
・［アドレス変換設定］（☛「機能詳細ガイド」P2-42）の［NAT 設定］の「有効」のチェックを外す
・［フィルタリング設定］（☛「機能詳細ガイド」P2-50）の［IPv4 フィルタリングエントリ編集］の［フィルタ種別］を「許可」に設定

※ 機能詳細ガイドをダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」（☛P10）を参照してください。

サービス情報サイトに接続するには

サービス情報サイトに接続する場合は、下記の設定をしてください。
IPv6 をご利用いただけない場合、サービス情報サイトを利用するには以下の設定が必要です。

プロバイダの接続設定

「プロバイダの接続設定」(☛P3-13)の手順を行い、PPP2～PPP5のいずれかに以下の内容を設定します。

	NTT 東日本	NTT 西日本
インタフェース名	任意	
接続モード	任意	
ユーザ名	guest@v4flets-east.jp	flets@v4flets-west.jp
パスワード	guest	flets

ドメインルーティングの設定

1 **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2 **[ルータ設定] をクリックする**

3 **[ルーティング設定] をクリックする**

4 **[ドメインルーティング] をクリックする**

5 **[ドメインルーティング機能] の [有効] をクリックする**

6 **[設定保存] をクリックする**
設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、[設定保存] をクリックする前に [トップページへ戻る] をクリックしてください。

7 未設定の項目の［編集］をクリックする

8 編集画面の各項目を設定する

［ドメイン名］

下記のドメイン名を入力します。

	NTT 東日本	NTT 西日本
ドメイン名	v4flets-east.jp	v4flets-west.jp

［ゲートウェイ］（初期値：PPP1）

ルーティング先のセッションの指定です。「プロバイダの接続設定」（☛P3-18）で設定したインタフェース名を選択します。

9 ［設定保存］をクリックする

設定内容が反映され保存されます。

取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［前のページへ戻る］をクリックしてください。

［ルータ設定］について

［ルータ設定］メニューでは、以下の項目の設定ができます。
設定については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

■ リンク設定
■ LAN インタフェース設定
■ WAN インタフェース設定
■ ルーティング設定
■ DNS 設定
■ アドレス変換設定
■ IPv4/IPv6 トランスレータ設定
■ フィルタリング設定
■ VPN 設定
■ VPN パススルー設定
■ UPnP 設定
■ PPPoE ブリッジ設定
■ マルチキャスト配信設定
■ QoS 設定
■ ICMPv4/v6 Echo Reply 機能

「機能詳細ガイド」をダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」（☛P10）を参照してください。

お願い

●設定内容を理解しないで設定を変更すると、ひかり電話やルータ機能が利用できなくなる場合があります。「ルータ機能の設定を行うときの注意」（☛「機能詳細ガイド」P2-17）を参照してください。

4 管理する

4-1 状態表示を行う

状態表示

本商品の現在の状態を表示することができます。

1 Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2 ［レポート表示］をクリックする

3 ［状態表示］をクリックする

下記の項目が表示されます。

■ 商品情報

［MAC アドレス（LAN）］

本商品の LAN 側 MAC アドレスが表示されます。

［MAC アドレス（WAN）］

本商品の WAN 側 MAC アドレスが表示されます。

■ 機器状態情報

■接続状態

［接続先 1［PPP1］］～［接続先 5［PPP5］］

接続状態

接続状態が表示されます。

WAN 側 IP アドレス

インタフェースの WAN 側 IP アドレスが表示されます。

接続先 IP アドレス

接続先の IP アドレスが表示されます。

DNS サーバアドレス

DNS サーバのアドレスが表示されます。

［WAN］

IP アドレス

本商品の WAN 側 IP アドレスが表示されます。

［LAN］

IP アドレス

本商品の LAN 側 IP アドレスが表示されます。

■リンク状態

［WAN］

本商品の WAN ポートの接続状態が表示されます。

［LAN1］～［LAN4］

本商品の LAN ポートの接続状態が表示されます。

■ 電話情報

［回線 1］～［回線 8］

本商品の電話回線の使用状況が表示されます。

お知らせ

●OG810Xa では、■電話情報は［回線 1］～［回線 8］の状態が表示されます。
●OG810Xi では、■電話情報は［回線 1 Bch1］、［回線 1 Bch2］、［回線 2 Bch1］、［回線 2 Bch2］、［回線 3 Bch1］、［回線 3 Bch2］、［回線 4 Bch1］、［回線 4 Bch2］の状態が表示されます。
●OG410Xa では、■電話情報は［回線 1］～［回線 4］の状態が表示されます。
●OG410Xi では、■電話情報は［回線 1 Bch1］、［回線 1 Bch2］、［回線 2 Bch1］、［回線 2 Bch2］の状態が表示されます。

ログ表示

以下のログを表示することができます。
ログの表示方法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

■通話ログ

■障害ログ

■システムログ

■セキュリティログ

■バージョン遷移ログ

「機能詳細ガイド」をダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」(☛P10)を参照してください。

再起動を行う

Web ブラウザから再起動する

1. **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
   「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。
2. **［再起動］をクリックする**
3. **「再起動を行います。よろしいですか？<ご注意>通話中に再起動を行うと通話が切断されます。」と表示されたら［OK］をクリックする**
   本商品が再起動します。再起動中は「本商品の再起動を行っています。1 分 30 秒ほどお待ちください」と表示されます。「Web 設定」のトップ画面が表示されるまでお待ちください。
4. **「再起動が完了しました。<ご注意>［OK］ボタンをクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、Web ブラウザを開きなおしてください。」と表示されたら［OK］をクリックする**

ワンポイント

●**再起動を中止するには**
手順 3 で［キャンセル］をクリックします。

お願い

●再起動が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
●Web ブラウザから再起動したときに、再起動後に「Internet Explorer® ではこのページは表示できません」などと表示される場合があります。この場合は、しばらく待ってから Web ブラウザの［更新］をクリックしてください。

お知らせ

●各種設定で［設定保存］をクリックする前に再起動をした場合、設定データは最後に保存された値になります。
●通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
●再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。

4-3 ファームウェア更新を行う

本商品は、定期的にサーバにアクセスして自動的に最新のファームウェアに更新します。また、手動でファームウェアの更新を行うこともできます。

自動ファームウェア更新の設定をする

自動でファームウェア更新を行うかどうかを設定します。自動ファームウェア更新を無効にした場合は、更新チェックは自動で行われますが、ファームウェアのダウンロードや更新は行われません。

1 Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く

「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。

2 ［保守］をクリックする

3 ［ファームウェア更新］をクリックする

4 下記の各項目を設定する

■ アップデート設定

［自動ファームウェア更新］（初期値：有効）

自動ファームウェア更新を行うかどうかを指定します。

［自動更新時間］（初期値：03：00）

ファームウェア更新を行う時刻を入力します。新しいファームウェアがある場合、設定時刻から 2 時間以内（①本商品を単独でご利用または下部にゲートウェイ装置を収容してご利用の場合は設定時刻＋ 1 時間後から 1 時間以内／②本商品を下部のゲートウェイ装置としてご利用の場合は設定時刻から 1 時間以内）に更新が行われ、自動的に再起動します。通話中の場合は、通話が終わったあと 1 ～ 6 分後に再起動します。新しいファームウェアは、再起動後に有効になります。

［自動ファームウェア更新］の設定に関わらず、［自動更新時刻］を設定できます。

設定範囲：0：00 ～ 23：00

5 ［設定保存］をクリックする

設定内容が反映され保存されます。
取り消す場合は、［設定保存］をクリックする前に［トップページへ戻る］をクリックしてください。

お知らせ

●［自動ファームウェア更新］を「有効」に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードして更新を行い、再起動します。
ただし、重要な更新については、［自動ファームウェア更新］の設定に関わらず、［自動更新時刻］に設定した時刻から 2 時間以内（①本商品を単独でご利用または下部にゲートウェイ装置を収容してご利用の場合は設定時刻＋ 1 時間後から 1 時間以内／②本商品を下部のゲートウェイ装置としてご利用の場合は設定時刻から 1 時間以内）に更新が行われ、自動的に再起動します。通話中の場合は、通話が終わったあと 1 ～ 6 分後に再起動します。新しいファームウェアは、再起動後に有効になります。
●再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
●自動更新時刻の設定時刻に本商品の電源が入っていない場合は、自動ファームウェア更新は行われません。

Web ブラウザから手動で更新する

Web ブラウザから手動でファームウェアを更新することができます。
ファームウェア更新中および再起動が完了するまでの間は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

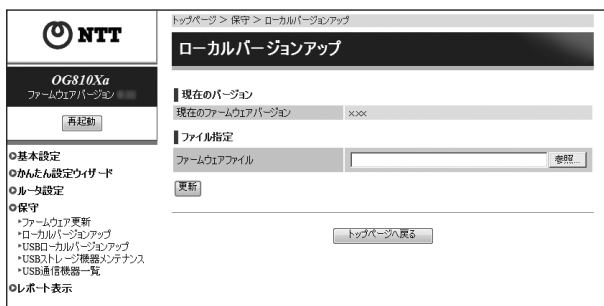
1. **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
   「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。
2. **［保守］をクリックする**
3. **［ファームウェア更新］をクリックする**
4. **［手動アップデート］の［更新確認］をクリックする**
5. **「ファームウェアの更新確認に成功しました。更新されたファームウェアが公開されています。最新ファームウェアに更新する場合は「ファームウェア更新」ボタンをクリックしてください。」と表示されたら［ファームウェア更新］をクリックする**
   最新のファームウェアがない場合は「ファームウェアの更新確認に成功しました。新しいファームウェアはありません。」と表示されます。
6. **「ファームウェアの更新が完了しました。本商品の再起動を行ってください。」と表示されたら［再起動］をクリックする**
7. **「再起動を行います。よろしいですか？＜ご注意＞通話中に再起動を行うと通話が切断されます。」と表示されたら［OK］をクリックする**
   本商品が再起動します。

8 「再起動が完了しました。<ご注意>［OK］ボタンをクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Webブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、Web ブラウザを開きなおしてください。」と表示されたら［OK］をクリックする

お知らせ

●通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
●再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
●緊急通報（110 番、118 番、119 番）の通話中および使用後一定時間は本商品の再起動が行えません。
緊急通報通話後約 6 分ほど経過してから同じ操作を行ってください。

ローカルでファームウェアを更新する

パソコン上にダウンロードしたファームウェアファイルを使用して、Web ブラウザからファームウェアを更新することができます。
ファームウェア更新中および再起動が完了するまでの間は、本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

1. **Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く**
   「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。
2. **［保守］をクリックする**
3. **［ローカルバージョンアップ］をクリックする**
4. **［参照］をクリックし、パソコン上のファームウェアファイルを指定する**
5. **［更新］をクリックする**
6. **「<ご注意>［OK］ボタンをクリックしたあと、Web ブラウザが応答のない状態になる場合があります。5 分経過しても Web ブラウザ画面が更新されない場合は Web ブラウザを一度終了し、再度ローカルバージョンアップを行ってください。」と表示されたら［OK］をクリックする**
7. **「ファームウェアの更新が完了しました。本商品の再起動を行ってください。」と表示されたら［再起動］をクリックする**
8. **「再起動を行います。よろしいですか？<ご注意>通話中に再起動を行うと通話が切断されます。」と表示されたら［OK］をクリックする**
   本商品が再起動します。

9 「再起動が完了しました。<ご注意> [OK] ボタンをクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Webブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、Web ブラウザを開きなおしてください。」と表示されたら[OK] をクリックする

お知らせ

- 通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
- 緊急通報（110 番、118 番、119 番）の通話中および使用後一定時間は本商品の再起動が行えません。
  緊急通報通話後約 6 分ほど経過してから同じ操作を行ってください。

ビジネスホンから手動で確認／更新（再起動）する

本商品に接続したビジネスホンからの操作により、手動で最新ファームウェアの有無の確認や更新（再起動）をすることができます。
ビジネスホンなどの詳しい操作方法は、接続したビジネスホンの取扱説明書などを参照してください。

■ 最新ファームウェアを確認する

1. **ビジネスホンの外線ランプが消灯していることを確認し、外線ボタンを押す**
   「ツー」という発信音を確認してください。
2. **ハンドセット（受話器）を取りあげる**
3. **ダイヤルボタンで 00012 と押す**
   最新のファームウェアがある場合は、「新しいファームウェアへのバージョンアップが可能です。」という音声ガイダンスがハンドセットから聞こえます。
   最新のファームウェアがない場合は、「新しいファームウェアへのバージョンアップ情報はありません。」という音声ガイダンスがハンドセットから聞こえます。
4. **ハンドセット（受話器）を置く**
   新しいファームウェアがある場合は、続けて以下の「最新ファームウェアの更新（再起動）」の操作を行ってください。

■ 最新ファームウェアに更新（再起動）する

1. **ビジネスホンの外線ランプが消灯していることを確認し、外線ボタンを押す**
   「ツー」という発信音を確認してください。
2. **ハンドセット（受話器）を取りあげる**
3. **ダイヤルボタンで 00013 と押す**
   最新のファームウェアがある場合は「ピピッ・ピピッ」という確認音がハンドセットから聞こえ、ファームウェアの更新を行います。
   最新のファームウェアがない場合は「ピッピッピッピッ」という確認音がハンドセットから聞こえます。
4. **ハンドセット（受話器）を置く**
   ファームウェアの更新が完了したら再起動します。
   他の電話機が通話をしていた場合、切断し再起動します。ただし、緊急通報（110 番、118 番、119 番）の場合は通話が終わったあと 6 分後に再起動します。

ワンポイント

●本商品の WAN 側に回線終端装置ではなく、ひかり電話の集約装置などが存在する場合は最新ファームウェアの確認 / 更新のダイヤルボタン番号を下記のように設定してください。
- ・最新ファームウェアの確認：00010
- ・最新ファームウェアの更新：00011

お願い

●OG410Xa/OG810Xa をご利用の場合は、本商品およびビジネスホンのダイヤル種別設定を「PB」に設定してください。

お知らせ

●通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
●再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
●インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
●緊急通報（110 番、118 番、119 番）の通話中および使用後一定時間は本商品の再起動が行えません。

USB デバイスからファームウェアを更新する（Web ブラウザ）

USB デバイスにダウンロードしたファームウェアファイルを、Web ブラウザから更新することができます。

■ USB デバイスにファームウェアファイルをダウンロードする

1. ファームウェアファイルが保存されているパソコンに USB デバイスを接続する
2. エクスプローラを起動して、USB デバイス内に「firmware」フォルダを作成する
3. パソコンに保存されているファームウェアを USB デバイスの「firmware」フォルダにダウンロードする

■ 最新ファームウェアに更新（再起動）する

1. 本商品の USB ポートに、ファームウェアファイルが入った USB デバイスを接続する
2. Web ブラウザを起動して、「Web 設定」のトップ画面を開く
   「本商品の設定を行うには（ログイン）」（☛P3-4）の手順 1 ～ 3 を行います。
3. ［保守］をクリックする
4. ［USB ローカルバージョンアップ］をクリックする
5. ［更新］をクリックする

6 **「<ご注意>［OK］ボタンをクリックしたあと、Web ブラウザが応答のない状態になることがあります。5 分経過しても Web ブラウザ画面が更新されない場合は Web ブラウザを一度終了し、再度ローカルバージョンアップを行ってください。」と表示されたら［OK］をクリックする**

7 **「ファームウェアの更新が完了しました。本商品の再起動を行ってください。」と表示されたら［再起動］をクリックする**

8 **「再起動を行います。よろしいですか？<ご注意>通話中に再起動を行うと通話が切断されます。」と表示されたら［OK］をクリックする**

本商品が再起動します。

9 **「再起動が完了しました。<ご注意>［OK］ボタンをクリックしたあと、本商品にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、Web ブラウザを開きなおしてください。」と表示されたら［OK］をクリックする**

お知らせ

- ●USB デバイスには、ファームウェアファイルを複数入れないでください。
- ●通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
- ●再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- ●インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
- ●緊急通報（110 番、118 番、119 番）の通話中および使用後一定時間は本商品の再起動が行えません。
  緊急通報通話後約 6 分ほど経過してから同じ操作を行ってください。

USB デバイスからファームウェアを更新する（多目的ボタン）

USB デバイスにダウンロードしたファームウェアファイルを、本商品の多目的ボタンで更新することができます。

■ USB デバイスにファームウェアファイルをダウンロードする

1. ファームウェアファイルが保存されているパソコンに USB デバイスを接続する
2. エクスプローラを起動して、USB デバイス内に「firmware」フォルダを作成する
3. パソコンに保存されているファームウェアを USB デバイスの「firmware」フォルダにダウンロードする

■ 最新ファームウェアに更新（再起動）する

1. 本商品の USB ポートに、ファームウェアファイルが入った USB デバイスを接続する
2. 本商品前面の多目的ボタンを長押し（5 秒以上）する
   ファームウェアの更新が完了したら再起動します。
   他の電話機が通話をしていた場合、切断し再起動します。ただし、緊急通報（110 番、118 番、119 番）の場合は通話が終わったあと 6 分後に再起動します。

お知らせ

- USB デバイスには、ファームウェアファイルを複数入れないでください。
- 通話中に再起動を行うと、通話が切断されます。
- 再起動が完了するまで数分かかります。再起動が完了するまでひかり電話サービスとデータ通信（本商品を経由した下部の機器の通信も含む）はご利用になれません。また、本商品の LAN ポート下部で IP 端末をご利用の際に、本商品の再起動完了後に、IP 端末の再登録が必要な場合があります。IP 端末の操作方法は、各機器の取扱説明書などを参照してください。
- インターネット接続を行っている場合は、再起動の際にインターネット接続が切断されます。
- 緊急通報（110 番、118 番、119 番）の通話中および使用後一定時間は本商品の再起動が行えません。

5 故障かな？と思ったら

5-1 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、現在の症状をご確認のうえ、以下のページでその原因と対策を参照してください。
症状が改善しない場合は、最新ファームウェアへのバージョンアップについてもお試しいただくことをお勧めします。(☛P4-6)

項　目	原因と対策
電話がかけられない 電話がかかってこない 本商品正面の POWER ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ(電源プラグ)が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ(電源プラグ)がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。) ●電源アダプタ(電源プラグ)のコードが破損していないか確認してください。 破損している場合はすぐに電源アダプタ(電源プラグ)を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
本商品正面の POWER ランプが点滅している 本商品正面の POWER ランプ以外のランプが消灯している	●省エネモード中です。 当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品正面の INIT ランプが赤点灯している	●本商品の初期設定がされていません。 当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品正面の INIT ランプが橙点滅している	●本商品の LAN 側 IP アドレス(サブネット)が、ひかり電話または PPPoE 接続先 IP アドレス(サブネット)と重複しています。 本商品の LAN 側 IP アドレス(サブネット)を変更してください。 (☛「機能詳細ガイド」P2-20)
本商品正面の ALARM ランプが赤点滅している	●USB デバイスとのアクセスに問題があります。 USB デバイスに正しくファームウェアがダウンロードされているか確認してください。
本商品正面の ALARM ランプの赤点灯、全ランプの橙点灯を繰り返している	●本商品で異常が発生しています。 本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。 電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
本商品正面の CONFIG ランプが消灯している	●ひかり電話の設定がされていません。そのまましばらくお待ちください。 しばらく待っても CONFIG ランプが緑点灯しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
本商品正面の CONFIG ランプが赤点灯している	●ひかり電話の設定が失敗しています。 そのまましばらくお待ちください。 しばらく待っても CONFIG ランプが緑点灯しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
本商品正面の CONFIG ランプが赤点滅している	●設定に失敗しました。設定をやり直してから本商品を再起動してください。 再起動しても CONFIG ランプが赤点滅している場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
本商品正面の CONFIG ランプが緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、VoIP ランプと CONFIG ランプが緑点灯することを確認してください。

項　目	原因と対策
本商品正面のCONFIGランプが橙点灯しない ※USBデバイスを接続した際	●USBデバイスを認識していません。 USBデバイス接続し本商品が正常に認識すると約2秒間CONFIGランプが橙点灯します。 USBデバイスを接続してもCONFIGランプが橙点灯しない場合は、当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品正面のPPPランプが赤点滅または赤点灯している ※緑および橙との混在点滅含む	●接続エラーのPPPセッションがあります。 登録したPPPのうち全セッションエラーの場合は赤点灯となります。 複数セッションが登録されている状態で、接続エラーのセッションがある場合は赤緑点滅または赤橙点滅が行われます。 PPPoE設定のユーザ名、パスワードを確認してください。
本商品正面のPPPランプが橙点滅している ※緑および赤との混在点滅含む	●複数のPPPセッションのうち未接続のセッションがあります。 複数のPPPセッションのうち未接続のものが混在する場合、橙赤点滅または橙緑点滅が行われます。
本商品正面のVoIPランプが消灯している （ひかり電話サービス契約をしている場合）	●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
本商品正面のWANランプが消灯している	●本商品と回線終端装置（ONU）の両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LANケーブルが本商品のWANポートと回線終端装置（ONU）、または壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。
本商品背面のLINKランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LANボードまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。 ●1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルをご利用の際は、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。 ●本商品のLANポートとLANポート接続機器のLANインタフェース条件（接続速度、リンク方式など）を確認してください。本商品側のLANポートの設定変更が必要な場合は［リンク設定］（☛「機能詳細ガイド」P2-18）を参照のうえ、LANポートの設定を行ってください。 ※「機能詳細ガイド」をダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」（☛P10）を参照してください。
インターネットにアクセスできないまたはWebブラウザで本商品の「Web設定」の画面が表示されない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを使用」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、「パソコンの設定」（☛P6-2）を参照のうえ、再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b 「パソコンの設定」（☛P6-2）を参照のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

項　目	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」の画面が表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「パソコンの設定」（☛P6-2）を参照のうえ、確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「LANにプロキシサーバーを使用する」になっている際に、本商品の「Web設定」の画面が表示されない場合があります。（☛P6-6） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。（☛P6-6） ●複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web設定」の画面は開きません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス（例えば、http://200.200.200.1/）を入力してください。（☛「機能詳細ガイド」P3-2） ※「機能詳細ガイド」をダウンロードする場合は、「本商品のマニュアルについて」（☛P10）を参照してください。 ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●通信の負荷が非常に高い際に、「Web設定」の画面の表示が遅くなる場合があります。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」の画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	●お使いのWebブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。（☛P6-4） ●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「本商品の設定」（☛P3-2）を参照のうえ、確認してください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	●本商品前面のVoIPランプが緑点灯しているか確認してください。CONFIGランプが消灯、緑点滅している場合は、緑点灯になるまでお待ちください。しばらく待っても、VoIPランプが消灯している場合は、ひかり電話をご利用になれませんので、再度、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のVoIPランプ、CONFIGランプが緑点灯します。
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間経過してから再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のファームウェアの更新中や本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動される場合があります。 電源を切らずに、そのまましばらくお待ちください。
G4ファクスで送信してもG3ファクスになってしまう（OG410Xi/OG810Xiの場合）	●故障ではありません。 本商品はG4ファクスには対応していませんので、G3ファクスでご利用ください。

付録

6

6-1 パソコンの設定

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認します。
手順や画面は Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 の例です。

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリックする**

※ Windows® 8 の場合は、［スタート］画面上で右クリックして［すべてのアプリ］をクリックし、［アプリ］画面で［コントロールパネル］をクリックします。

※ Windows® 8.1 の場合は、［スタート］画面左下にある下矢印「↓」をクリックして［アプリ］画面を表示し、［コントロールパネル］をクリックします。

※ Windows® RT の場合は、［スタート］画面で上にスワイプし、［アプリ］画面を表示し、［コントロールパネル］をタップします。

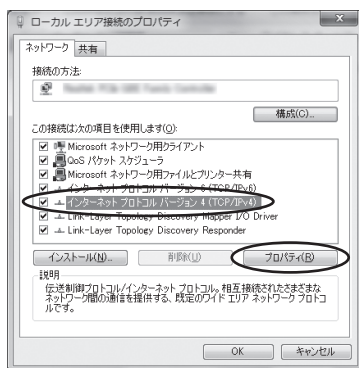
2 **［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［アダプターの設定の変更］をクリックまたはタップする**

※ Windows Vista® の場合は、［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

3 **［イーサネット接続］（または［イーサネット］または［ローカルエリア接続］）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

※ Windows® RT の場合は、［イーサネット接続］（または［イーサネット］または［ローカルエリア接続］）をタップし、［この接続の設定を変更する］をタップします。

4 **［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする**

5 **［インターネットプロトコル　バージョン 4（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックまたはタップする**

（画面は Windows® 7 の例です。）

6 **［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する**

7 ［OK］をクリックする

8 ［閉じる］または［OK］をクリックする

- Windows® RT/8.1/8/7 および Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

JavaScript の設定確認

Web ブラウザで設定を行うために JavaScript の設定を有効にします。

※ Web ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した際に、本商品の管理者パスワードの設定ができない場合があります。設定ができない場合は、下記の手順で JavaScript の設定を有効にしてください。

以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® RT/8.1/8 および Windows Vista® で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート]（Windows® のロゴボタン）－[コントロールパネル]をクリックする

※ Windows® 8.1 の場合は、[スタート]画面左下にある下矢印「↓」をクリックして[アプリ]画面を表示し、[コントロールパネル]をクリックします。

※ Windows® 8 の場合は、[スタート]画面上で右クリックして[すべてのアプリ]をクリックし、[アプリ]画面にある[コントロールパネル]をクリックします。

※ Windows® RT の場合は、[スタート]画面で上にスワイプし、[アプリ]画面を表示し、[コントロールパネル]をタップします。

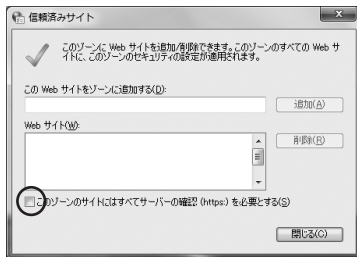
※ Windows® 7 および Windows Vista® の場合は、[スタート]（Windows® のロゴボタン）－[コントロールパネル]をクリックします。

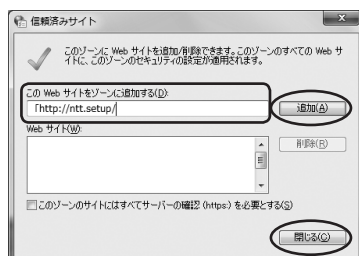
2 [ネットワークとインターネット]－[インターネットオプション]をクリックまたはタップする

※ Windows Vista® の場合は、[クラシック表示]（または[クラシック表示に切り替える]）－[インターネットオプション]をクリックします。

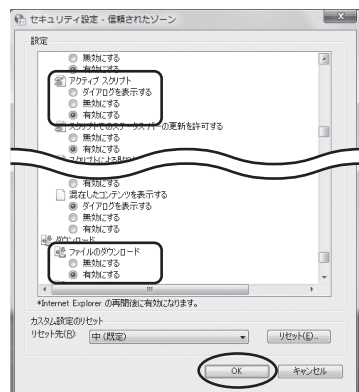
3 [セキュリティ]タブをクリックまたはタップし、[信頼済みサイト]をクリックまたはタップする

4 [サイト]をクリックまたはタップする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする]のチェックを外す

6 ［この Web サイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」を入力して［追加］をクリックまたはタップし、［閉じる］をクリックまたはタップする

※ IP アドレスを入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。
（初期状態は 192.168.1.1 です。）
例：http://192.168.1.1/
IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックまたはタップする

8 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックまたはタップする

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、［はい］（または［はい］－［適用］）をクリックまたはタップしてください。

9 ［OK］をクリックまたはタップする

6 付録

Web ブラウザの設定

本商品は、各種の設定を Web ブラウザで実施します。
各 OS に下記の Web ブラウザがインストールされていることを確認してください。

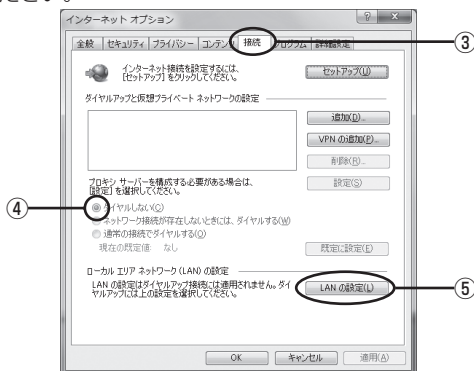
Windows® RT の場合：Internet Explorer® 10.0
Windows® 8.1 の場合：Internet Explorer® 11.0
Windows® 8 の場合：Internet Explorer® 10.0
Windows® 7（SP1）の場合：Internet Explorer® 8.0、9.0、10.0 または 11.0
Windows Vista®（SP2）の場合：Internet Explorer® 8.0 または 9.0

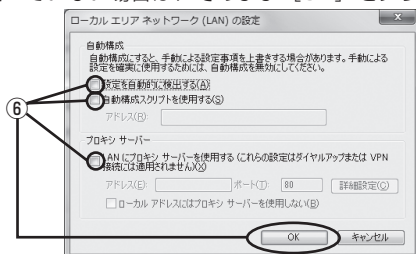
画面は Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 の例です。

①Internet Explorer® を起動する
※Windows® RT/8.1/8 の場合は、［スタート］画面の［デスクトップ］上で起動してください。

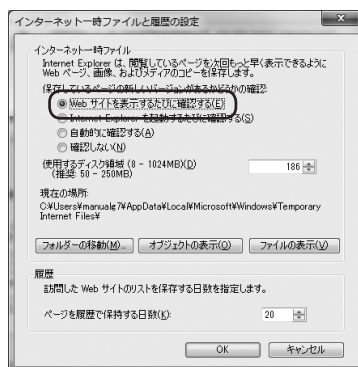
②［ツール］の［インターネットオプション］を選択する

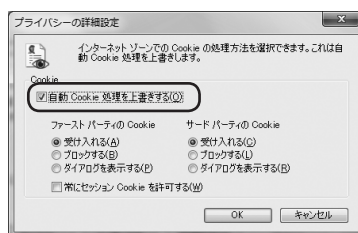
③［接続］タブをクリックまたはタップする

④ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する
※グレーアウトしている場合、または［ダイヤルしない］が表示されていない場合は、⑤にお進みください。

⑤［LAN の設定］をクリックまたはタップする

⑥［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックまたはタップする
※チェックが入っていない場合は、そのまま［OK］をクリックまたはタップします。

⑦［OK］をクリックまたはタップする

キャッシュ機能の設定

1. Internet Explorer® を起動し、ツールバーの［ツール］→［インターネットオプション］をクリックまたはタップする
2. ［全般］タブをクリックまたはタップし、［閲覧の履歴］の「設定」をクリックする
3. ［Web サイトを表示するたびに確認する］に設定されていることを確認し、［OK］をクリックまたはタップする

Cookie の設定

1. Internet Explorer® を起動し、ツールバーの［ツール］→［インターネットオプション］をクリックまたはタップする
2. ［プライバシー］タブをクリックまたはタップし、［詳細設定］をクリックまたはタップする
3. 「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックがついていることを確認し、［OK］をクリックまたはタップする

お知らせ

- Web ブラウザは、ホームページを見るためのソフトウェアです。代表的なブラウザとして、Internet Explorer® があります。
- Internet Explorer® を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動する場合があります。この場合は［キャンセル］をクリックまたはタップして、ダイアログを終了してください。
- ブラウザの［戻る］、［進む］は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じて Web ブラウザの設定を変更前の設定に戻してください。
- 設定画面にて「¥」を入力した際に、Web ブラウザのフォント設定によっては「\」と表示される場合があります。本書では「¥」に統一して記載しています。

6-2 ユーザ設定記入シート

以下のページをプリントし、保守のための資料として設定内容を記入して、大切に保管してください。
ユーザ用パスワードは、お客様の個人情報となります。記入された際は、お取り扱いにご注意ください。

プロバイダの接続設定（☛P3-13）

【ルータ設定】→【WAN インタフェース設定】→【接続先（PPPoE)】

基本設定		初期値
No.	[ ]（1 ～ 5）	–
インタフェース名	[ ]	PPP1 ～ PPP5
セッション	○ 有効 ○ 無効	無効
接続モード	○ 常時接続 ○ 要求時接続	要求時接続（自動切断する）
自動切断するまでの時間（秒）	[ ]	1800
認証設定		
ユーザ名	[ ]	–
パスワード	[ ]	–
認証方式	○ 暗号化されていないパスワード（PAP） ○ チャレンジハンドシェーク認証プロトコル（CHAP） ○ 自動認証	自動認証
IPv4 アドレス設定		
アドレス設定方法	○ IP アドレスの自動取得 ○ IP アドレスの手動設定 ○ Unnumbered	IP アドレスの自動取得
IP アドレス	[ ]	–
マスク長	[ ]	–
払い出し DNS サーバアドレス利用	○ 利用する ○ 利用しない	利用する
プライマリ DNS サーバアドレス	[ ]	–
セカンダリ DNS サーバアドレス	[ ]	–
詳細設定		
MTU 値	[ ]	1454
MRU 値	[ ]	1492
PPP キープアライブ機能	○ 使用する ○ 使用しない	使用する
LCP ECHO 送信間隔（秒）	[ ]	60
LCP ECHO リトライ送信間隔（秒）	[ ]	10
LCP ECHO リトライ回数（回）	[ ]	10

セキュリティ設定			
ステルスモード	○ 有効	○ 無効	有効
攻撃検出	○ 有効	○ 無効	有効

※ セッションごとに、このページを複数プリントしてご使用ください。

【ルータ設定】→【ルーティング】→【ドメインルーティング】

ドメインルーティング		初期値
ドメインルーティング機能	○ 有効　○ 無効	有効
ドメインルーティングエントリ編集		
エントリ番号	[　　] (01 ～ 20)	－
ドメイン名	[　　]	－
ゲートウェイ	○ PPP1 ○ PPP2 ○ PPP3 ○ PPP4 ○ PPP5 ○ WAN	PPP1
エントリ番号	[　　] (01 ～ 20)	－
ドメイン名	[　　]	－
ゲートウェイ	○ PPP1 ○ PPP2 ○ PPP3 ○ PPP4 ○ PPP5 ○ WAN	PPP1
エントリ番号	[　　] (01 ～ 20)	－
ドメイン名	[　　]	－
ゲートウェイ	○ PPP1 ○ PPP2 ○ PPP3 ○ PPP4 ○ PPP5 ○ WAN	PPP1
エントリ番号	[　　] (01 ～ 20)	－
ドメイン名	[　　]	－
ゲートウェイ	○ PPP1 ○ PPP2 ○ PPP3 ○ PPP4 ○ PPP5 ○ WAN	PPP1
エントリ番号	[　　] (01 ～ 20)	－
ドメイン名	[　　]	－
ゲートウェイ	○ PPP1 ○ PPP2 ○ PPP3 ○ PPP4 ○ PPP5 ○ WAN	PPP1

※ ［ドメインルーティングエントリ編集］欄が足りない場合は、このページを複数プリントしてご使用ください。

[基本設定] について（☛P3-6）

（☛P3-6）

【基本設定】→【装置名称設定】

装置設定		初期値
装置名称	[ ]	GW 装置

【基本設定】→【ユーザ用アカウント設定】

ユーザ用アカウント設定		初期値
ログイン ID	user（変更できません）	user
パスワード	[ ]	user

【基本設定】→【時刻設定】

自動取得設定			初期値
取得機能	○ 有効	○ 無効	有効
サーバアドレス設定方法	○ 自動	○ 手動	自動
NTP サーバ	[ ]		―

6-3 Q&A

よくある質問を下記にまとめています。

質問（Q）	回答（A）
ひかり電話とはどのようなサービスか？	フレッツ 光ネクストのアクセス回線（光ファイバ）を利用することにより、加入電話、携帯電話などへ低廉な通話料金での発信、および従来の加入電話などと同じ電話番号での着信ができる IP 電話サービスです。
ひかり電話と固定電話は何が違うのか？	本サービスは、VoIP 技術を利用した IP 電話サービスで、低廉な通信料金で、かつ音声品質が固定電話と同等水準で、電話番号もそのままご利用できます。 ※一部電話番号が変更になる場合もあります。
ひかり電話でかけることができない（つながらない）電話番号はあるか？	ひかり電話は、114（話中調べ）など、接続できない電話番号があります。 ひかり電話の接続可否番号の一覧は以下の URL からご確認ください。 （NTT 東日本エリアの場合） https://flets.com/hikaridenwa/office/use/access.html （NTT 西日本エリアの場合） https://flets-w.com/solution/hikari_service/office/ryuuijikou/index.html
アクセス回線（光ファイバ）1 回線で、インターネットとひかり電話の両方が利用できるのか？	インターネットとひかり電話の両方が利用可能です。ただし、インターネットを利用する場合は、別途インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。
ひかり電話から 110 番（警察）、118 番（海上保安庁）、119 番（消防）の緊急通報の利用もできるのか？	ひかり電話は、110 番（警察）、118 番（海上保安庁）、119 番（消防）の緊急通報の利用もできます。
停電の場合も、通話できるのか？	停電の場合は、利用できません。
「050IP 電話」とひかり電話を同時に利用できるか？	本商品は 050IP 電話には対応しておりませんが、050IP 電話対応機器の種類によっては、本商品の下部に接続して利用可能な場合もあります。 ただし、その際は利用したい 050IP 電話対応機器の取扱説明書などで、本商品の下部で利用可能かの確認が必要です。
受話器外し（オフフック状態）のとき、アナログ網と同様に H&D 状態またはハウラ音を送出するか？	H&D 状態またはハウラ音の送出は行いません。 受話器を置く（オンフック状態）まで話中音を送出しますが、60 秒後に無音となります。
本商品の LAN ポートからインターネット接続はできるか？	利用できます。 ただし、インターネットを利用する場合は、別途インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。
本商品の「Web 設定」に複数のパソコンから同時にログインおよび設定ができるか？	本商品の「Web 設定」に複数のパソコンから同時にログインおよび設定ができます。 本商品は多重ログインの制限はありません。 複数の方が同じ設定画面を設定した場合は、最後に設定した方の設定値のみが有効となります。

質問（Q）	回答（A）
再起動を繰り返すのですが、故障と判断したほうが良いか？	本商品の前面ランプを確認していただきALARMランプが赤点灯→全ランプが橙点灯を繰り返しながら再起動を繰り返している場合は、装置状態が異常となっている可能性があります。 電源プラグを抜くまたは電源を切りしばらく放置してから、再度電源を入れても同じ症状の場合は故障と判断し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
本商品からUSBデバイスを取り外す（アンマウントをする）場合は、どのように処理すれば良いか？	本商品からUSBデバイスを取り外す場合は、Web-GUIの［トップページ］－［保守］－［ストレージ機器メンテナンス］の［操作］から、該当ポートの「取り外し」をクリックしてください。 ただし、「USBデバイスからファームウェアを更新する（Webブラウザ）」および「USBデバイスからファームウェアを更新する（多目的ボタン）」を行う場合、手順が正しく終了するとUSBデバイスは自動アンマウントされるため、Web-GUIからの取り外し操作は不要となります。
LANケーブルは何を使えば良いか？	カテゴリ5eまたは、カテゴリ6のケーブルをご使用ください。ストレートケーブルでもクロスケーブルでも、どちらでもご使用になれます。
高音質の通話はできるか？	高音質対応のIP端末をご使用ください。 高音質対応のIP端末については、当社のサービス取扱所にご相談ください。
本商品のLANポート下部に接続したVoIPゲートウェイ装置のLANポートにIP端末を接続して良いか？	接続できません。 LANポート下部に接続したVoIPゲートウェイ装置のLANポートには、VoIPゲートウェイの設定用パソコン以外は接続できません。
LANポート下部にパソコンは何台接続して良いか？	本商品の初期設定状態で、LANポート下部に接続できるパソコンの台数は、最大128台となります。
すべてのインターネットプロバイダに対応しているか？	当社のサービス取扱所にご相談ください。
転居先でもそのまま使えるか？	転居される場合は、事前に当社のサービス取扱所までご連絡ください。
ひかり電話オフィスタイプ（Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム）／ひかり電話ビジネスタイプは利用できるか？	利用できません。

6-4 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。

数字

10BASE-T …………………… Ethernetの通信方式の1つ。10Mbpsの伝送速度を持つ。ツイストペアケーブルを使用する。

100BASE-TX …………… Ethernetの通信方式の1つ。100Mbpsの伝送速度を持つ。ツイストペアケーブルを使用する。

1000BASE-T …………… Ethernetの通信方式の1つ。1Gbps（1000Mbps）の伝送速度を持つ。ツイストペアケーブルを使用する。

アルファベット

bps ………………………………… bit per second（bit/s）の略。
通信速度の単位。秒当たりに伝送されるビット数。

CHAP ……………………… Challenge Handshake Authentication Protocolの略。
PPP接続する際に、ユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。
PAPと異なり、毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやりとりするため、安全性が高いという特徴がある。
RFC1994で仕様が公開されている。

DHCP ……………………… Dynamic Host Configuration Protocolの略。
端末装置に対し、動的にIPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク構成情報を割り当てるための機能。
（TCP/IPを使用する端末装置は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。）

DHCPクライアント ……… DHCPサーバによりIPアドレスなどの設定を割り当てられる端末。

DHCPサーバ ……………… DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するサーバ。

DNS ……………………… Domain Name Systemの略。
IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をするための機能。

DNSサーバ ………………… ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。

Ethernet …………………… LANの通信方式。10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tなどの規格がある。

IP ………………………………… Internet Protocol の略。
異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IP アドレスにより相手先を判断する。

IPsec……………………………… IP Security の略。
ホスト間でのセキュリティを確保するため、データを IP パケットのレベルで暗号化して通信する技術。VPN（Virtual Private Network）で利用される。

IPv6 ……………………………… IP（Internet Protocol）の新しい規格。
従来 32bit 長だった IP アドレスが 128bit 長に拡張され、事実上無制限の端末に固有の IP アドレスを割り当てることができる。

IP アドレス …………………… インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するためのアドレス。IPv4 では 32bit の値を持ち、8bit ずつ 10 進数で表現した 4 つの数値をピリオドで区切って表現される。（例： 192.168.1.10）また、新しい規格の IPv6 では 128bit の値を持ち、16bit ずつ 16 進数で表現した 8 つの数値をコロンで区切って表現される。（例：2100:1122:3344:5566:7788:99aa:bbcc:ddee）

IP 端末 ………………………… 音声や映像をパケットに変換して、IP ネットワーク上で通信を行う端末。

IP マスカレード ……………… NAT（IP アドレス変換）機能の 1 つ。ポート番号を動的に割り当てることにより、1 つの WAN 側 IP アドレスに対して複数の LAN 側端末を接続することが可能となる機能。

L2TP……………………………… Layer 2 Tunneling Protocol の略。
インターネットを経由した拠点間で VPN（Virtual Private Network）を構築するための技術。データの暗号化は、IPsec で行われる。

LAN ……………………………… Local Area Network の略。
1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なコンピュータネットワーク。

MAC アドレス ………………… ネットワーク上で機器の区別をするために、個々のハードウェア（LAN カードなど）につけられた固有のアドレス。利用者が、このアドレスを決めることはできない。

MRU ……………………………… Maximum Receive Unit の略。
1 回の受信で受け取ることができる最大データサイズ。

MTU ……………………………… Maximum Transmission Unit の略。
1 回の送信で送ることができる最大データサイズ。

NAT …… Network Address Translation の略。
インターネット上（WAN 側）で使用するグローバルな IP アドレスと LAN 側で使用するローカルな IP アドレスを相互に変換するための機能。
RFC1631 で仕様が公開されている。

NTP …… Network Time Protocol の略。
ネットワークに接続された機器の内部時計を、NTP サーバを参照して正しく調整するためのプロトコル。

ONU …… Optical Network Unit の略。
光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する回線終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持つ。

PAP …… Password Authentication Protocol の略。
PPP リンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。
RFC1334 で仕様が公開されている。

PING …… 端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。

PPP …… Point to Point Protocol の略。
2 点間を接続してデータ通信を行うための通信プロトコル。公衆回線を使ってインターネットに接続するために使われる。

PPPoE …… PPP over Ethernet の略。
ブロードバンドの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術のこと。
ダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように、Ethernet 上で利用者の接続先ユーザ名や接続先パスワードのチェックを行う。

PPPoE ブリッジ …… LAN 側端末からの PPPoE 接続を WAN 側に中継するための機能。

ProxyDNS …… LAN 側端末からの DNS 問い合わせを WAN 側の DNS サーバへ中継する機能。また、中継されたデータのキャッシュを行うことで、DNS 問い合わせに対して代理で応答することができる。

RFC …… Request for Comments の略で、IETF（Internet Engineering Task Force）が取りまとめている文書のこと。
TCP/IP や PPP などの規格としても知られている。

SIP …… Session Initiation Protocol の略。
ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。
RFC3261 で仕様が公開されている。

TCP ･･････････････････････････････ Transmission Control Protocol の略。
データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してからデータを送信し、受信側は受け取ったパケットの到達確認を行ってエラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。

TCP/IP ･･････････････････････････ Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。
インターネットや LAN で一般的に使われているプロトコル。

UDP ･･････････････････････････････ User Datagram Protocol の略。
コネクション管理や、応答確認、フロー制御などの機能を持たないデータ転送用プロトコル。機能を持たない分、処理が軽いので、動画や音声などの伝送に使われる。

UPnP ･････････････････････････････ Universal Plug and Play の略。
パソコンや周辺機器、AV 機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続するための技術仕様のこと。ルータの WAN 側 IP アドレスを LAN 側端末に通知する機能があるため、データ中に IP アドレスを設定するアプリケーションで利用される。

VoIP ･････････････････････････････ Voice over Internet Protocol の略。
インターネットや LAN などの IP ネットワーク上で音声通話を実現する技術仕様のこと。社内 LAN を使った内線電話やインターネット電話などで利用される。

VoIP ゲートウェイ ･･･････････････ ビジネスホンや PBX などの電話網と IP ネットワークの境界に置かれ、音声情報などを変換する装置。電話線から入力されるアナログ音声データをデジタルデータに変換し、IP パケットに分割して IP ネットワーク上に送信する。同時に、IP ネットワーク側から受け取った IP パケットをアナログ音声に復元し、電話網へ送り出す。

VPN ･･････････････････････････････ Virtual Private Network の略。
インターネットを経由した拠点間で構築された仮想プライベートネットワークのこと。送受信するデータを暗号化し、安全な通信を可能にする。

WAN ･･････････････････････････････ Wide Area Network の略。
地理的に離れた地点にあるパソコンどうしを電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。

五十音

【あ行】

イーサネット……………………「Ethernet」を参照。

【か行】

回線終端装置……………………デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。
ひかり電話などの光ファイバ通信では、ONU と呼ばれる。

クライアント……………………LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

グローバルアドレス…………インターネット上で通信相手を特定するために使用される IP アドレスのこと。
このアドレスは、インターネット上で重複することは許されていない。これに対し、LAN などのプライベートなネットワーク内に限って利用できる IP アドレスを、プライベートアドレスという。

ゲートウェイ……………………プロトコルの異なる LAN どうしや LAN と WAN とを接続する装置。

攻撃検出…………………………WAN 側からの不正なアクセスを検出／遮断するための機能。本商品は、Host Scan、Syn Flood Attack、IP Spoofing に対応する。

【さ行】

サーバ……………………………LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。
インターネット上では、Web サーバがホームページを提供する。

サブネット………………………大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の、管理単位となる小さなネットワーク。IP アドレスは、所属するサブネットを特定するアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末を特定するアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（マスク長）で指定する。

ステートフル・インスペクション …ルータを通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的に使用ポートを開放／閉鎖する機能。

ステルスモード…………………WAN 側からアクセスするパケットを破棄し、応答しないようにする機能。

静的 IP マスカレード ……… IP マスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにして、LAN 側の端末を特定する機能。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

セッション …………………… ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。
例えば、ログインのことを「セッションの開始」、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

ダイヤルイン ………………… ダイヤルインとは、契約者回線番号とは別に追加の番号を取得し、電話機ごとに個別の電話番号を設定し直接呼び出せるようにするサービス。

ドメイン ……………………… 「領地」を意味し、ネットワーク関連では、各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

ひかり電話 …………………… NTT 東日本／ NTT 西日本が提供するひかり電話サービス。

ファームウェア ……………… 本商品を動作させるためのソフトウェア。

ファイアウォール …………… 外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。

フィルタリング ……………… 送信／受信されるパケットの内容などを判断し、パケットを通過させるか破棄するかを決定する機能。

プライベートアドレス ……… プライベートな LAN 内で使用することができる IP アドレスのこと。プライベートアドレスで直接インターネットに接続することはできない。

プロキシサーバ ……………… 各装置からプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより、装置間の通信を確立させるサーバ。

プロトコル …………………… 通信規約。
システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

プロバイダ …………………… インターネットの接続サービスを提供している事業者。

ポート番号 …………………… TCP/IP において、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マスク長………………………… IP アドレスにおいて、ネットワークアドレス部が上位何ビットかを示す数値。

マルチセッション…………… ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。

【ら行】

ルータ…………………………… 複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

ルーティング………………… パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

6-5 索引

数字・アルファベット

五十音

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

【ハ行】

【ヤ行】

【ラ行】

6-6 仕様

ハードウェア仕様

項目		仕様
WAN ポート	規格	IEEE802.3（10BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/ IEEE802.3ab（1000BASE-T） 自動認識、AutoMDI/MDI-X 対応
	ポート数	1 ポート
	接続コネクタ	RJ-45（8 ピンモジュラージャック）
	最大伝送距離	100m
LAN ポート	規格	IEEE802.3（10BASE-T）/ IEEE802.3u（100BASE-TX）/ IEEE802.3ab（1000BASE-T） 自動認識、AutoMDI/MDI-X 対応
	ポート数	4 ポート（スイッチングハブ内蔵）
	接続コネクタ	RJ-45（8 ピンモジュラージャック）
	最大伝送距離	100m
アナログポート （OG410Xa/ OG810Xa のみ）	ポート数	OG410Xa：4 ポート OG810Xa：8 ポート
	接続コネクタ	232D（2 ピンクイックコネクタ）
	選択信号	PB/DP（10、20 pps）
	最大通話数	OG410Xa：4 通話 OG810Xa：8 通話
	接続距離	最大 200m ただし、直流抵抗は 50 Ω以上 300 Ω以下
	ブランチ接続条件	2 台（オフフックは 1 台のみ） ただし、ループ開放時のアナログ通信機器の合計静電容量／インピーダンスが 3 μ F 以下／ 2k Ω以上、ライン間抵抗が 1M Ω以上であること
BRI ポート （OG410Xi/ OG810Xi のみ）	ポート数	OG410Xi：2 ポート OG810Xi：4 ポート
	接続コネクタ	232D（4 ピンクイックコネクタ）
	プロトコル	JT-I.430 準拠 P-MP 接続、P-P 接続（レイヤ 1 常時起動、給電：20 mW〈1 ポート当たり〉）
	最大通話数	OG410Xi：4 通話 OG810Xi：8 通話
	接続距離	最大 200m
	P-MP 接続台数	1 ポートあたり 8 台（同時動作は 2 台）
CLK ポート （OG410Xi/ OG810Xi のみ）	ポート数	1 ポート
	接続コネクタ	232D（4 ピンクイックコネクタ）
	プロトコル	JT-I. 430 準拠 P-MP（レイヤ 1 常時起動）

項目		仕様
USB ポート	ポート数	2 ポート
	物理 インタフェース	USB2.0（最大 480Mbps）
	接続コネクタ	USB コネクタ（A 端子）
VoIP（内蔵）	接続手順	UDP
	呼制御	SIP
	最大通話数	4ch 構成時 4 通話／ 8ch 構成時 8 通話
	音声符号化則	音声：JT-G.711 Appendix I 準拠 FAX：JT-G.711 Appendix I 準拠／無音補間
	DTMF	みなし音声（透過）
	エコーキャンセラ	ITU-T G.168 準拠、消去時間：64ms（各チャネル）
	音声レベル	OG410/810Xa：3dB ステップ（送話 5 段階 / 受話 8 段階） OG410/810Xi：3dB ステップ（送話 5 段階 / 受話 8 段階）
使用電源	AC100V ± 10V（50/60Hz）（専用電源アダプタ使用）	
消費電力	最大 30W	
外形寸法	本体	235mm（W）× 147.5mm（D）× 56mm（H） （突起部を除く）
	縦置き時 （専用スタンド使用）	240mm（W）× 147.5mm（D）× 96mm（H）
質量（本体）	約 0.5kg（電源アダプタ含まず）	
使用条件	温度：5 ～ 40℃ 湿度：45 ～ 85%（結露しないこと）	

ソフトウェア仕様

項目	仕様	
ルータ機能	WAN プロトコル	WAN Ethernet、PPPoE
	PPP 認証	自動認証（CHAP/PAP）
	PPP 接続 / 切断	常時接続（自動接続）／要求時接続
	接続先数	登録：5 箇所、同時接続：5 箇所
	ルーティング方式	IPv4 ルーティング : 最大 40 件 IPv6 ルーティング : 最大 32 件 ドメインルーティング : 最大 32 件
	DHCP サーバ機能	あり（128 アドレス割り当て可能。そのうち固定は 20 アドレス割り当て可能）
	DNS Proxy 機能	あり
	NAT 機能	NAT セッション：最大 4096 セッション 静的 NAT：最大 64 アドレス
	静的 IP マスカレード機能	あり
	IPv4-IPv6 トランスレータ機能	あり
	複数固定 IP サービス対応機能	あり
	フィルタリング機能	IPv4 フィルタリング : フィルタ種別（拒否／許可）、方向指定、送信元 IP アドレス、送信先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、送信先ポート、TCP フラグ（最大 64 件） IPv6 フィルタリング : フィルタ種別（拒否／許可）、方向指定、送信元 IP アドレス、送信先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、送信先ポート、ICMPv6 タイプ、ICMPv6 コード、TCP フラグ（最大 64 件）
	ステートフル・インスペクション機能	あり
	攻撃検出機能	あり
	VPN 機能	IPsec パススルー機能：あり
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	マルチキャスト配信	IPv6 マルチキャスト（MLDv2、MLD Proxy、MLD Snooping） マルチキャスト / ユニキャスト変換機能
	QoS 機能	あり
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザによる設定・保守
	時計機能	あり
	状態表示機能	回線状態、IP アドレス、MAC アドレス、他
	ログ機能	通話ログ、障害ログ、システムログ、セキュリティログ、バージョン遷移ログ
	ファームウェアバージョンアップ機能	自動、Web ブラウザを使用、電話を使用、USB を使用

6-7 保守サービスのご案内

●本商品の保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定を参照してください。）

●本商品の保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、販売終了後、7 年間保有しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的に参照していただくことをお勧めします。

当社ホームページ：
［NTT 東日本］http://web116.jp/ced/
［NTT 西日本］http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：FREE 0120-970413（9:00 ～ 17:00）
携帯電話・PHS・050IP 電話からご利用の場合
03-5667-7100（通話料金がかかります。）
※年末年始　12 月 29 日～ 1 月 3 日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：0120-000113（24 時間　年中無休※）
※ 17:00 ～翌日 9:00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。
※故障修理などの対応時間は 9:00 ～ 17:00 です。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様
●本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：FREE 0120-248995
（携帯電話・PHS からもご利用可能です。）

□受付時間
・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ：
9：00 ～ 17：00（年末年始 12 月 29 日～ 1 月 3 日を除く）
・故障に関するお問い合わせ：24 時間（年中無休）※
※一部時間帯は録音受付による応対となります。
※故障修理などの対応時間は 9：00 ～ 17：00 です。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本 3328-1（2014.9）
Netcommunity OG410X/810X 取扱説明書